

# **石垣市学校施設等長寿命化計画**

## **見直し（素案）**

**令和 年 月**

**石垣市教育委員会**

# 目 次

<b>第1章 計画の概要 .....</b>	<b>1</b>
第1節 背景と目的 .....	1
第2節 計画の位置づけ .....	1
第3節 計画期間 .....	2
第4節 対象施設 .....	2
<b>第2章 石垣市の学校施設の現状 .....</b>	<b>4</b>
第1節 学校施設の保有状況 .....	4
第2節 児童・生徒数の推移 .....	5
第3節 学級数の推移 .....	7
第4節 施設関連経費の推移 .....	9
第5節 学校施設の老朽化状況 .....	10
<b>第3章 長寿命化の実施計画 .....</b>	<b>17</b>
第1節 改修等の優先順位付け .....	17
第2節 5年間の実施計画 .....	19
第3節 中長期的なコストの見通し .....	20
<b>第4章 学校施設の目指すべき姿 .....</b>	<b>25</b>
第1節 学校施設整備の基本方針 .....	25
<b>第5章 学校施設整備の基本的な方針等 .....</b>	<b>26</b>
第1節 学校施設の規模・配置計画等の方針 .....	26
第2節 改修等の基本的な方針 .....	27
第3節 改修等の整備水準 .....	28
第4節 維持管理の項目・手法等 .....	28
<b>第6章 長寿命化計画の運用 .....</b>	<b>29</b>
第1節 情報基盤の整備と活用 .....	29
第2節 推進体制等の整備 .....	29
第3節 計画のフォローアップ .....	30
<b>第7章 学校施設の適正規模の検討 .....</b>	<b>31</b>
第1節 基本的な考え方 .....	31
第2節 施設保有量の他団体比較 .....	31
第3節 喫緊の課題 .....	35

# 第1章 計画の概要

---

## 第1節 背景と目的

2013年11月に、国が策定した「インフラ長寿命化基本計画」に基づき、地方公共団体は、公共施設の維持管理に関する中期的な取り組みの方向性及び整備の基本的な方針として、「公共施設等総合管理計画」を策定することとされてきました。また、公共施設等総合管理計画の方針に基づく具体的な対応方針を定める計画として、個別施設毎の長寿命化計画（施設種類毎の計画、ここでは学校施設の計画）を2020年度までに策定することとなっています。学校施設においては、2015年3月に、「文部科学省インフラ長寿命化計画（行動計画）」が策定され、学校施設の管理者は、2020年度までに長寿命化計画を策定することが求められました。

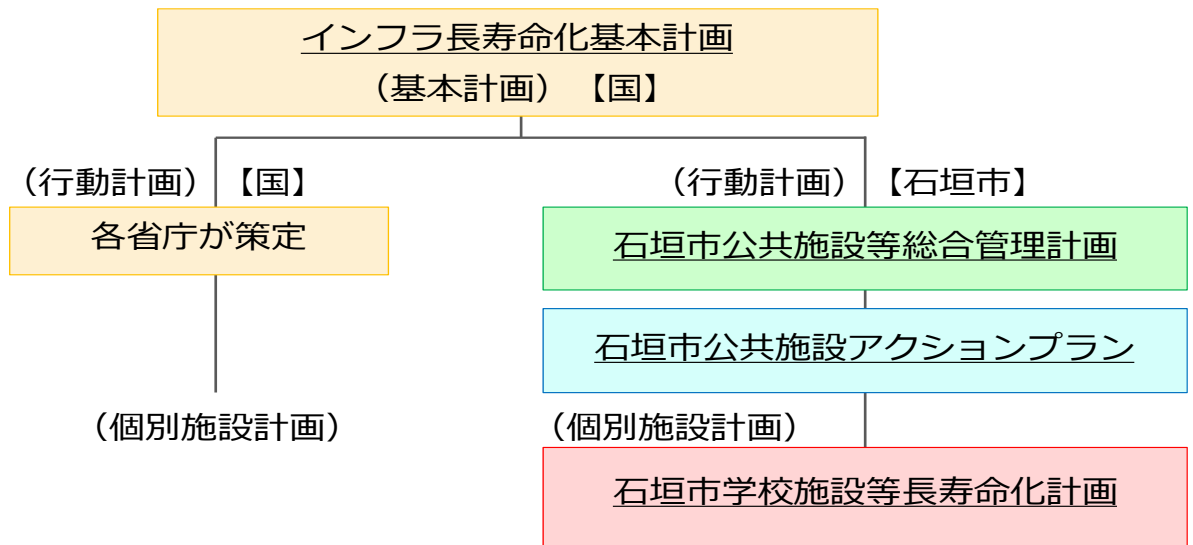
本市の学校施設は1980年代に建てられた建物が多く、1981年（昭和56年）以前に建てられた旧耐震基準の建物も一部に残っています。これらの建物は築後40年前後が経過しており、経年による建物自体の劣化や設備の不具合等の課題があることから、今後10年間でこれらの施設に関する建替えや大規模な改修工事が多く発生する見込みです。また、児童・生徒数は地区により差異が認められていることから、施設の建替えを迎えた際には、施設の保有量や各校の適正規模についても、再度検討が必要であると考えられます。学校施設が抱える様々な課題や児童・生徒数の将来推計を踏まえ、子供たちがよりよい環境で学習や生活ができる、安全・安心な学校施設の整備方針を立てることを目的として、2021年3月に石垣市学校施設等長寿命化計画（以下、本計画とします。）を策定し、学校施設の現地劣化状況調査等を踏まえて現状評価を行い、維持管理、改修・更新等対策を実施してきました。

近年、文部科学省からは、新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方や学校施設の教育環境向上を図る改修等に関する資料等が通達、公表されている実情もあり、あらためて本市の学校施設を取り巻く状況を再整理し、学校施設の老朽化状況や将来的な児童・生徒数の推移を認識したうえで、学校施設整備に長寿命化改修という考え方を踏まえた施設整備計画を更新し、現計画を見直すことで、学校施設整備に係るコスト縮減や財政負担の軽減及び平準化のより一層の推進を目的とします。

## 第2節 計画の位置づけ

本市では、施設の基本的な維持管理方針を定めた「石垣市公共施設等総合管理計画」（以下、「総合管理計画」という。）を2017年3月（2023年3月改定）に策定しました。また、総合管理計画の基本方針に従った今後10年間にわたる公共施設整備に関する行動内容を示した実施計画として、「石垣市公共施設アクションプラン」（以下、アクションプランという。）も定めており、本計画はこれらの計画書を上位計画としています。

図 1-1. 石垣市学校施設等長寿命化計画の位置づけ



第 3 節 計画期間

本計画の計画期間は、2020 年度から 2029 年度までの 10 年間とします。計画の実施にあたっては、定期点検等により継続的に建物の老朽化状況を把握し、計画期間の中間にあたる 5 年目（2025 年度）に計画の見直しを行いました。また、本計画の上位計画である総合管理計画の見直しが行われた際は、本計画についても適宜見直しを行うこととします。

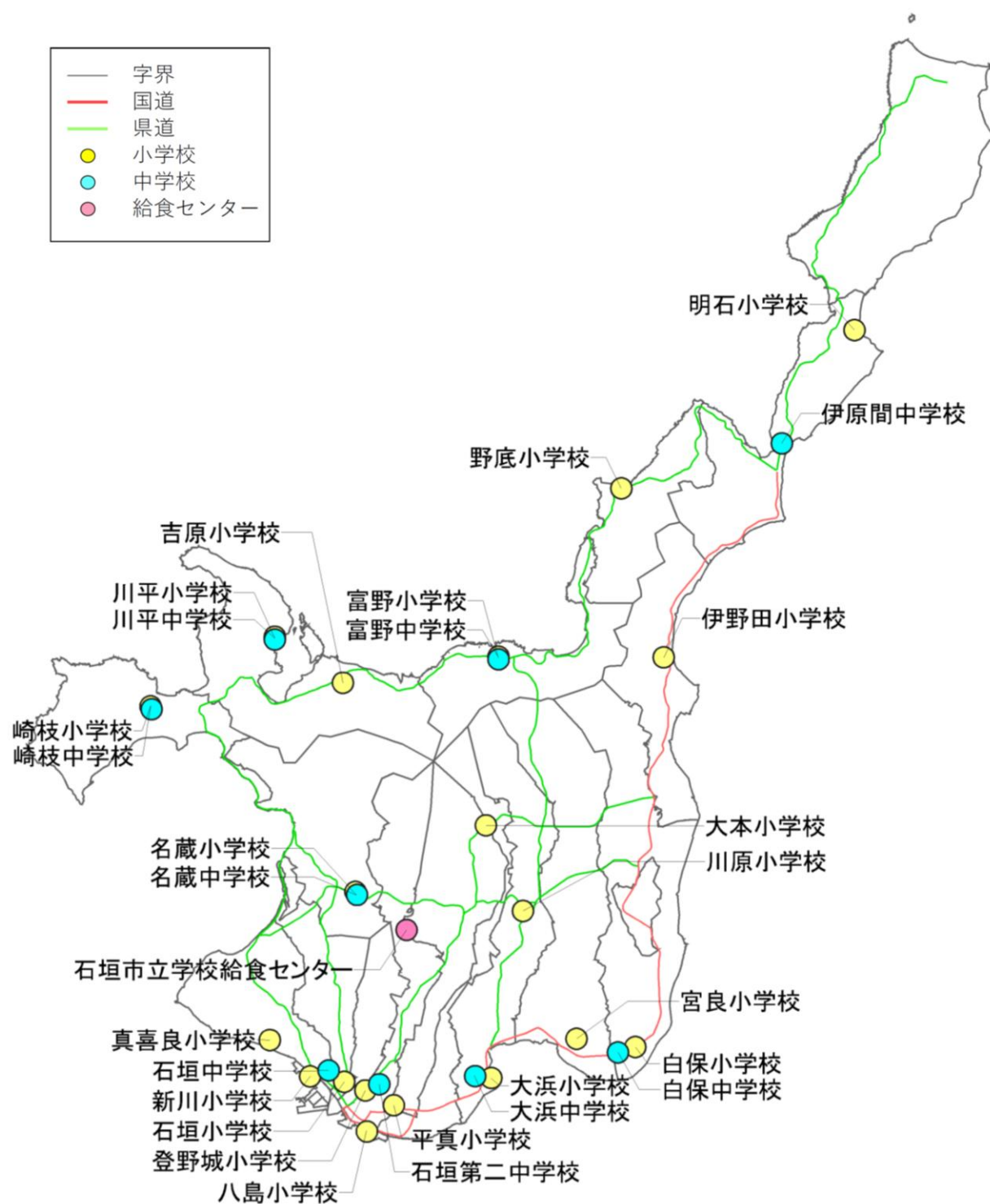
第 4 節 対象施設

本計画において学校施設の実態を把握するために調査及び評価を行った学校施設等は、市が保有する公立小学校 19 校、公立中学校 9 校、学校給食センター 1 施設で、学校施設内にある倉庫、屋外トイレなどの小規模な建物は対象外としました。なお、平久保小学校は 2024 年 3 月に閉校となりました。また、2013 年度に建設された学校給食センターについては、経過年数が少ないことから、現地調査の対象から除外しています。

表 1-1. 調査対象施設数

区分	施設数	棟数	延床面積（㎡）
小学校	19	77	61,081
中学校	9	30	30,844
給食センター	1	2	2,502
合計	29	109	94,427

図 1-2. 学校施設の配置状況



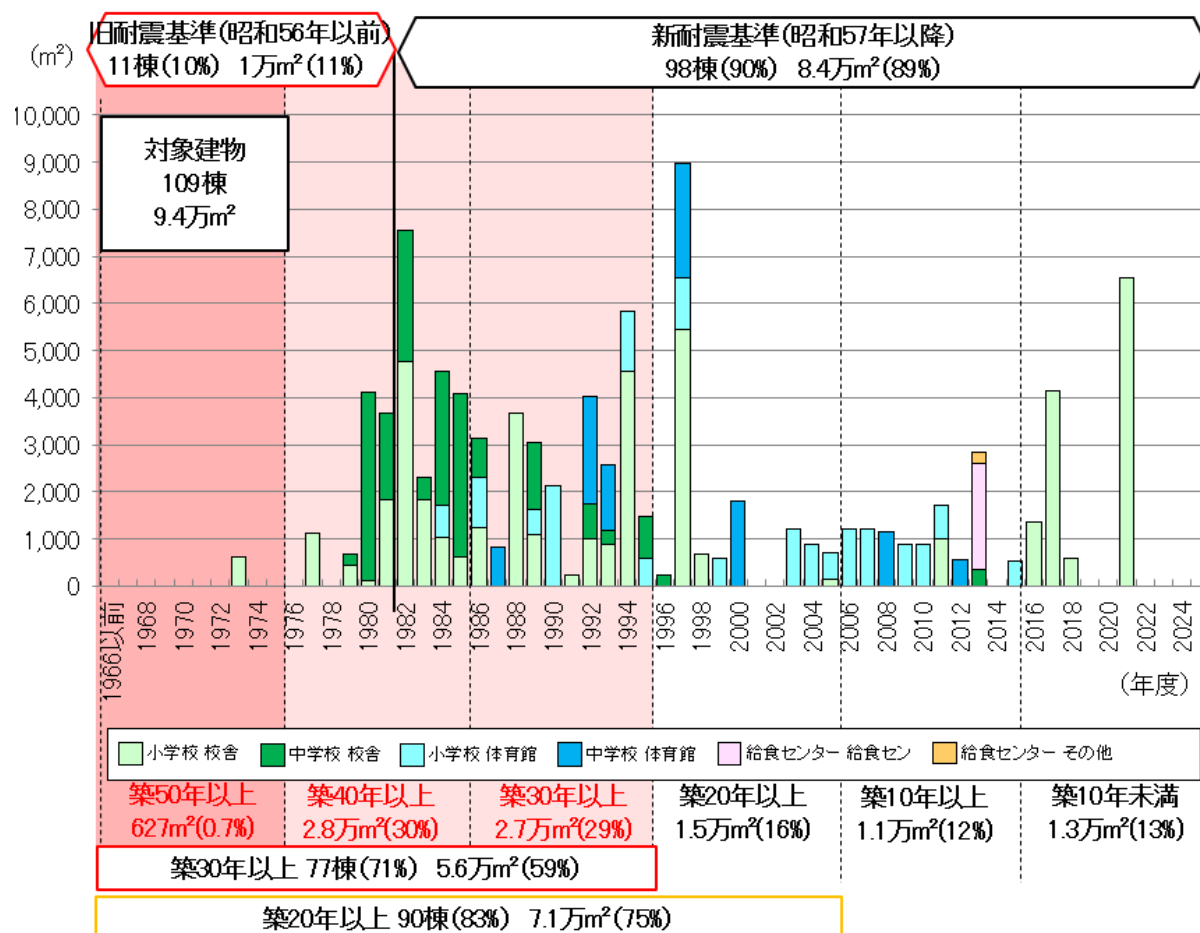
## 第2章 石垣市の学校施設の現状

### 第1節 学校施設の保有状況

本計画で対象とする学校施設は 109 棟あり、その延床面積の合計は 94,427 m<sup>2</sup>となっています。学校種別で棟数及び延床面積の割合を比較すると、棟数、延床面積ともに小学校が最も多く、棟数では全体の約 71%を、延床面積では全体の約 65%を占めています。

築年別の整備状況を見ると、1976 年から 1985 年代にかけて建設された建物（築 40 年以上 50 年未満）がもっとも多く、40 棟 28,109 m<sup>2</sup>、1986 年から 1995 年（築 30 年以上 40 年未満）の建物が 36 棟 26,929 m<sup>2</sup>となっています。また、旧耐震基準で建設されている建物も 11 棟存在していますが、すべて耐震性があると確認済みもしくは耐震補強工事実施済み、あるいは使用停止としています。

図 2-1. 学校施設の築年別整備状況



## 第2節 児童・生徒数の推移

本市の小学校の児童数は2016年から微減の傾向にあり、2016年の3,487人から2025年の3,167人までで320人の減少となっています。中学校の生徒数は2023年から微増の傾向にあり、2016年の1,531人から2025年の1,604人までで73人の増加となっています。

学校別にみると地区によって1校あたりの児童・生徒数に差異があり、市街地地区である南部地区に特に集中している傾向が認められます。

表 2-1. 過去10年間の児童数の動態（各年5月1日時点）

小学校	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年
富野小学校	10	10	7	9	8	9	8	7	8	6
吉原小学校	12	21	23	22	12	12	11	10	7	8
川平小学校	59	60	52	43	38	43	44	40	38	43
崎枝小学校	12	9	6	7	10	7	8	8	6	6
名蔵小学校	32	27	22	26	25	20	21	23	19	13
新川小学校	447	425	430	404	394	378	379	365	341	328
石垣小学校	356	354	356	372	367	364	376	367	379	384
登野城小学校	538	568	586	623	642	676	661	677	673	640
平真小学校	676	637	612	626	643	611	628	602	624	625
大浜小学校	341	344	334	310	326	327	324	321	327	335
川原小学校	19	22	18	23	22	22	28	29	31	33
大本小学校	11	9	9	7	9	6	6	7	6	3
宮良小学校	134	131	136	134	116	113	103	103	104	105
白保小学校	108	113	114	112	109	114	115	125	123	123
伊野田小学校	22	18	17	18	16	13	13	15	11	12
明石小学校	23	23	26	23	19	22	23	16	15	15
旧平久保小学校	8	8	5	4	4					
野底小学校	37	31	34	25	23	19	19	28	22	24
八島小学校	284	286	282	268	248	236	235	231	214	215
真喜良小学校	358	379	369	352	356	327	312	287	269	249
合計	3,487	3,475	3,438	3,408	3,387	3,319	3,314	3,261	3,217	3,167

表 2-2. 過去 10 年間の生徒数の動態（各年 5 月 1 日時点）

中学校	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年
富野中学校	10	8	9	5	7	7	7	3	5	3
川平中学校	15	19	16	21	23	23	22	25	28	23
崎枝中学校	7	8	7	5	3	4	4	4	2	4
名蔵中学校	12	16	16	20	15	16	13	14	12	11
石垣中学校	520	529	519	550	536	575	569	588	542	506
石垣第二中学校	470	457	484	464	492	526	567	565	565	575
大浜中学校	405	403	408	417	420	442	439	424	401	406
白保中学校	57	58	61	59	59	53	52	52	59	56
伊原間中学校	35	40	37	42	32	37	32	25	23	20
合計	1,531	1,538	1,557	1,583	1,587	1,683	1,705	1,700	1,637	1,604

本計画の計画期間と合わせ、2020 年から 2030 年までの児童・生徒数について、5 年ごとの推計を行いました。2025 年までの児童生徒数は実績値、2030 年の児童生徒数については、第 3 期石垣市地域創生総合戦略（人口ビジョン）（令和 7 年 3 月）における 5 歳～14 歳までの地域別の人口変動率を 2025 年時点の実数に乗じて推計しました。一部では 2030 年まで児童生徒数の増加傾向が継続する推計結果となった学校も認められますが、減少傾向となる推計となりました。

図 2-2. 児童生徒数の将来推計（小学校）

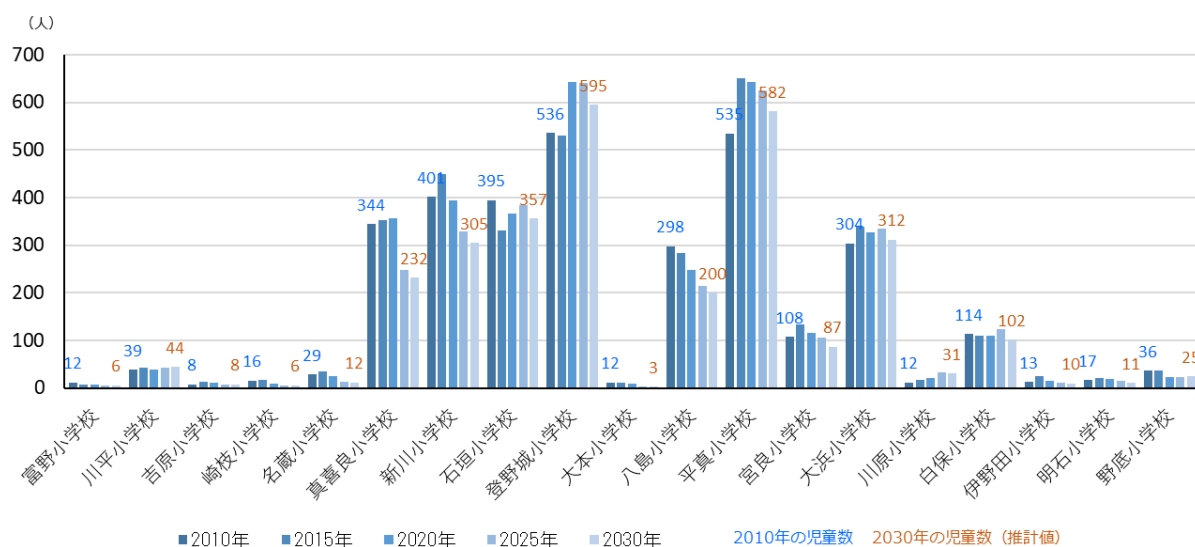
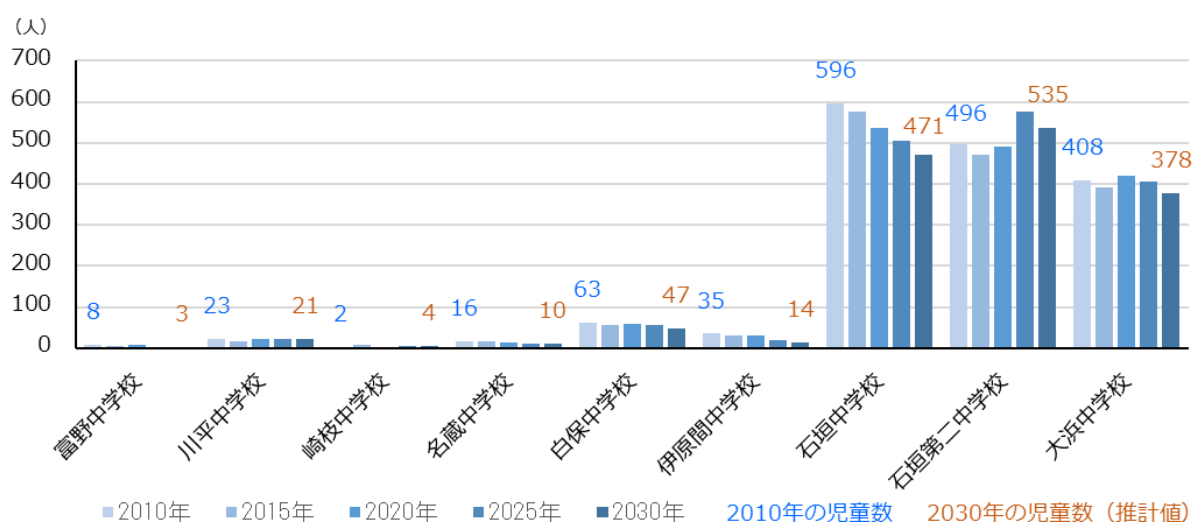




図 2-3. 児童生徒数の将来推計（中学校）



### 第3節 学級数の推移

本市の小学校の普通学級数は 2016 年から微減傾向が続いております。また、特別支援学級については 2016 年から増加傾向にありましたが、2022 年から横ばいもしくは微減の傾向にあります。

中学校の普通学級数は 2016 年から 2025 年までの 10 年間、62 学級から 55 学級の間でほとんど横ばいの状態となっており、特別支援学級については 2016 年から横ばい傾向にありましたが、2020 年から微増の傾向にあります。

図 2-4. 過去 10 年間の小中学校の学級数の動態（各年 5 月 1 日時点）

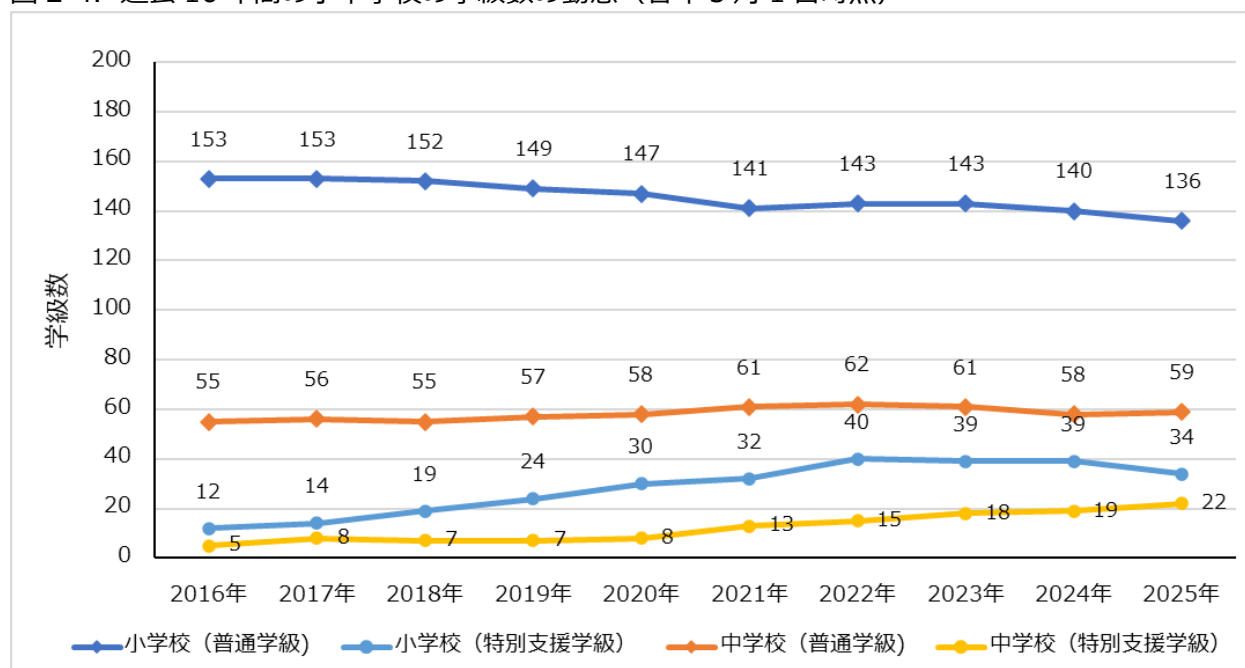


表 2-3. 過去 10 年間の小学校ごとの学級数の動態（各年 5 月 1 日時点）

小学校	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	10年間の 増減数
富野小学校	3	3	3 (1)	2 (1)	2 (1)	3 (1)	3 (1)	3 (1)	3	2	-1 (0)
吉原小学校	2	3	4	3 (1)	2 (1)	2 (1)	3 (1)	2 (1)	2	3	1 (0)
川平小学校	6 (1)	6 (1)	6 (1)	5	4	4	4 (2)	4	5 (1)	4 (1)	-2 (0)
崎枝小学校	3	2	2	2	3	3	3 (1)	3 (1)	2 (1)	2	-1 (0)
名蔵小学校	3	3	3 (1)	4 (1)	3 (2)	3 (1)	3 (2)	3 (2)	3 (2)	3 (2)	0 (2)
新川小学校	16 (1)	15 (1)	16 (1)	15 (2)	14 (2)	13 (2)	13 (3)	13 (3)	12 (3)	12 (3)	-4 (2)
石垣小学校	12 (1)	12 (1)	12 (1)	12 (2)	12 (2)	12 (2)	13 (2)	12 (2)	12 (2)	12 (3)	0 (2)
登野城小学校	18 (2)	20 (3)	20 (3)	20 (4)	20 (5)	20 (6)	20 (6)	23 (5)	22 (6)	21 (5)	3 (3)
平真小学校	23 (1)	21 (2)	21 (2)	21 (4)	21 (5)	20 (5)	20 (6)	19 (7)	20 (7)	21 (5)	-2 (4)
大浜小学校	12 (2)	12 (2)	12 (2)	12 (2)	12 (3)	12 (2)	12 (3)	12 (3)	12 (3)	12 (2)	0 (0)
川原小学校	3	3	3	3	4	3 (1)	4 (1)	4 (2)	3 (2)	4 (2)	1 (2)
大本小学校	3	3	3	3	3	3	2	3	3	2	-1 (0)
宮良小学校	6 (1)	6	7	6 (2)	6 (2)	6 (2)	6 (2)	6 (2)	6 (1)	6 (1)	0 (0)
白保小学校	6	6	5 (1)	6	6 (2)	6 (2)	6 (1)	6 (1)	6 (1)	6 (1)	0 (1)
伊野田小学校	3	3	3	3 (1)	3	3	3 (1)	3 (1)	2 (1)	3 (1)	0 (1)
明石小学校	3	4	4	3	3	3	3	3	3 (1)	3 (1)	0 (1)
旧平久保小学校	3	3	2	2	2						-3 (0)
野底小学校	4	3 (1)	3 (1)	3	3 (1)	3 (2)	3 (2)	4 (2)	4 (2)	3 (2)	-1 (2)
八島小学校	11 (2)	12 (2)	11 (2)	11 (2)	11 (2)	10 (3)	10 (3)	8 (3)	8 (3)	7 (2)	-4 (0)
真喜良小学校	13 (1)	13 (1)	12 (3)	13 (2)	13 (2)	12 (2)	12 (3)	12 (3)	12 (3)	10 (3)	-3 (2)
合計	153 (12)	153 (14)	152 (19)	149 (24)	147 (30)	141 (32)	143 (40)	143 (39)	140 (39)	136 (34)	-17 (22)

※ ( ) カッコ内の数字は特別支援学級を示しています。

表 2-4. 過去 10 年間の中学校ごとの学級数の動態（各年 5 月 1 日時点）

中学校	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	10年間の 増減数
富野中学校	2	2	2	1	2	2	2 (1)	2 (1)	2 (1)	1	-1 (0)
川平中学校	2	3	3	3	3 (1)	3 (1)	3	3 (2)	3 (2)	3 (2)	1 (2)
崎枝中学校	2	2	2	2	2	2	2	2	1 (1)	2 (1)	0 (1)
名蔵中学校	2	2	2	3	2	3 (2)	3 (2)	3 (2)	3 (1)	3 (1)	1 (1)
石垣中学校	15 (1)	15 (2)	14 (2)	16 (2)	16 (2)	16 (2)	16 (3)	17 (3)	15 (3)	16 (5)	1 (4)
石垣第二中学校	14 (2)	14 (2)	13 (2)	13 (2)	14 (2)	16 (3)	17 (4)	16 (4)	16 (4)	16 (5)	2 (3)
大浜中学校	12 (1)	12 (2)	13 (1)	13 (2)	13 (2)	13 (3)	13 (3)	12 (4)	12 (4)	12 (6)	0 (5)
白保中学校	3	3 (1)	3 (1)	3 (1)	3 (1)	3 (2)	3 (2)	3 (2)	3 (2)	3 (1)	0 (1)
伊原間中学校	3 (1)	3 (1)	3 (1)	3	3	3	3	3	3 (1)	3 (1)	0 (0)
合計	55 (5)	56 (8)	55 (7)	57 (7)	58 (8)	61 (13)	62 (15)	61 (18)	58 (19)	59 (22)	4 (17)

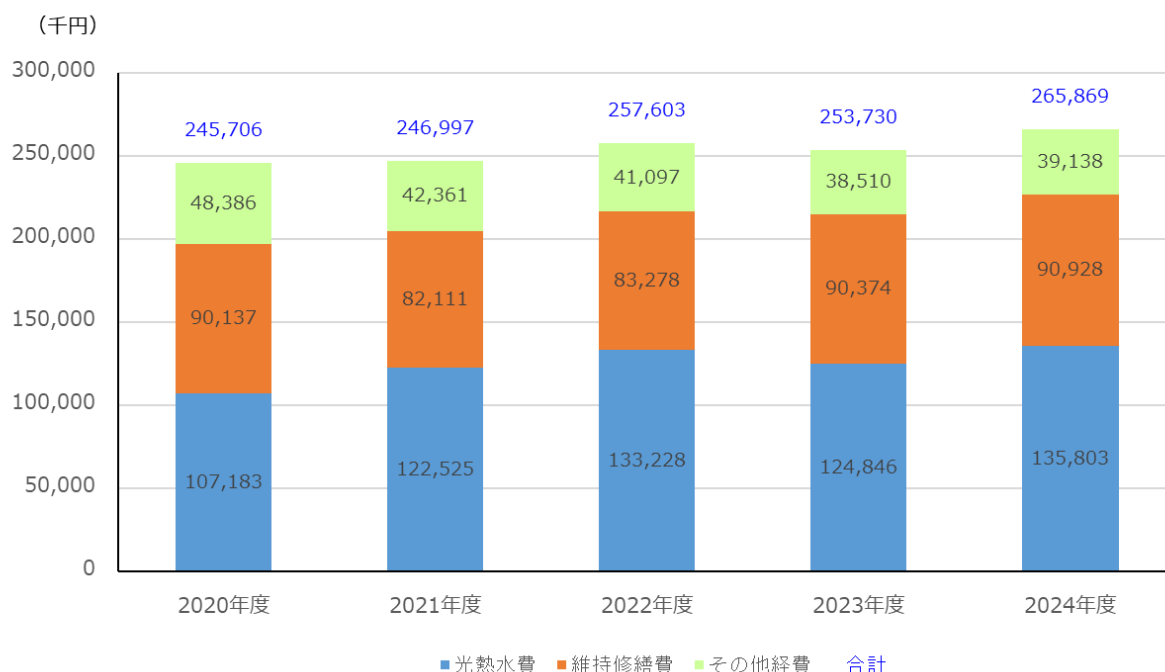
※ ( ) カッコ内の数字は特別支援学級を示しています。

## 第4節 施設関連経費の推移

### (1) ランニングコストの推移

学校施設を運営していく上で必要となるハード面のランニングコストについて、2020年度から2024年度までの5年間の推移を図に示しました。小学校と中学校の全校にかかる維持修繕費は、受電設備や浄化槽の点検、施設の修繕などに要する経費であり、2020年度から2024年度までの間、おおむね約8千2百万円から約9千万円で推移し、5年間平均で約8千7百万円となっています。光熱水費については、新型コロナウイルス感染症対策として臨時交付金が交付されたため2023年に一時減少しましたが、総じて増加傾向が続いており、2020年度と2024年度の光熱水費を比較すると約2千7百万円増加しています。2015年度より、本格的な空調機器の設置を開始しており、今後、校舎だけではなく、体育館にも設置を進めていくとしていることから、光熱費のさらなる増加が予想されます。

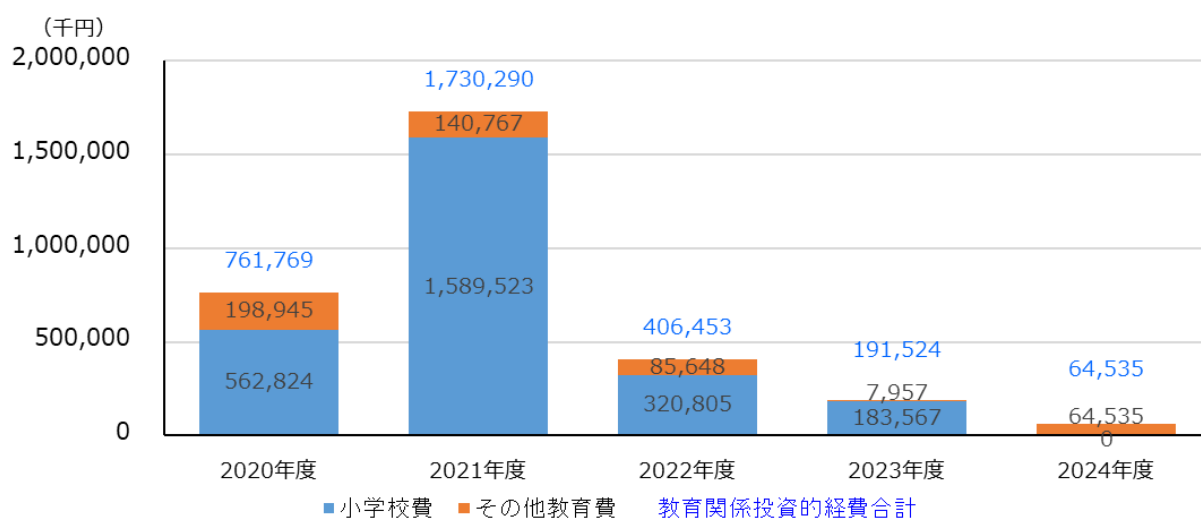
図2-5. 学校施設のランニングコストの推移



### (2) 投資的経費の推移

教育関係施設に係る投資的経費の推移を示しています。2020年度から2021年度には石垣小学校の校舎建替え工事を実施しており、単年度で約16億円の投資的経費が発生しています。2022年以降に空調機器の整備や受電給電設備、給水排水設備の改修工事、トイレの洋式化などを実施しており、約2～3億で推移しています。

図 2-6. 教育関係施設にかかる投資的経費の推移



## 第 5 節 学校施設の老朽化状況

### (1) 構造躯体の健全性

2019 年 5 月時点で石垣市が保有する学校施設のうち、旧耐震基準で建設されており、かつ、耐震性が確認されていない建物は以下の 4 棟が残っていましたが、このうち、新川小学校の校舎は使用停止、旧平久保小学校の体育館は閉校（使用停止）、石垣小学校の校舎は建替えが完了、石垣中学校の校舎は耐震改修工事が完了しているため、すべて解消済みです。

表 2-5. 旧耐震基準の建物一覧（2019 年 5 月時点）

建物名	構造階数	延床面積 (㎡)	建築年度	築年数	健全度	対応状況 (2025.5 月時点)
新川小学校 校舎 1	RC2	627	S48	45	37.8	使用停止
石垣小学校 校舎 2	RC3	1,835	S56	37	23.2	建替え完了
旧平久保小学校 体育館	RC2	532	S54	39	32.1	閉校（使用停止）
石垣中学校 校舎 1	RC4	2,000	S55	38	37.8	耐震改修完了

## (2) 老朽化現地調査

構造躯体以外の劣化状況等の把握については、建物ごとに現地調査を実施し、劣化状況調査票（表 2-6）を用いて、専門家により劣化状況を調査しました。具体的には、建物ごとの屋根・屋上、外壁、内部仕上、電気設備、機械設備の5つに分け調査しています。調査方法はいずれの部位についても目視によりひび割れや雨漏り、損傷の有無などを調査し、劣化の状況に応じてA～Dの4段階で評価を行いました。

A～Dの判断基準は図 2-7 の評価基準の通りです。

図 2-7. 老朽化の評価基準と健全度の計算方法

### 評価基準

#### 目視による評価【屋根・屋上、外壁】

評価	基準
良好 A	概ね良好
B	部分的に劣化(安全上、機能上、問題なし)
C	広範囲に劣化(安全上、機能上、不具合発生の見し)
劣化 D	早急に対応する必要がある (安全上、機能上、問題あり) (躯体の耐久性に影響を与えている) (設備が故障し施設運営に支障を与えている)等

#### 経過年数による評価 【内部仕上、電気設備、 機械設備】

評価	基準
良好 A	20年未満
B	20～40年
C	40年以上
劣化 D	経過年数に関わらず著しい劣化事象がある場合

#### ①部位の評価点

	評価点
A	100
B	75
C	40
D	10

#### ②部位のコスト配分(例)

部位	コスト配分
1 屋根・屋上	4.2
2 外壁	14.9
3 内部仕上げ	21.3
4 電気設備	9.0
5 機械設備	16.6
計	66

#### ③健全度

$$\text{総和(部位の評価点} \times \text{部位のコスト配分)} \div 66$$

※100点満点にするためにコスト配分の合計値で割っている。  
※健全度は、数値が小さいほど劣化が進んでいることを示す。

(右図「劣化状況調査票」記入例における健全度計算例)

	評価	評価点	配分	
1 屋根・屋上	C	40	× 4.2	= 168
2 外壁	D	10	× 14.9	= 149
3 内部仕上げ	B	75	× 21.3	= 1,598
4 電気設備	A	100	× 9.0	= 900
5 機械設備	C	40	× 16.6	= 664
				計 3,479
				÷ 66
				健全度 53

出所：学校施設の長寿命化計画の見直しに向けたコスト試算等に係る解説書（文部科学省）

表 2-6. 劣化状況調査票

通し番号				
学校名			学校番号	
建物名			調査日	
棟番号			記入者	
構造種別		延床面積	㎡	階数
				地上 階 地下 階

部位	仕様 (該当する項目にチェック)	工事履歴(部位の更新)		劣化状況 (複数回答可)	箇所数	特記事項	評価
		年度	工事内容				
1 屋根 屋上	<input type="checkbox"/> アスファルト保護防水 <input type="checkbox"/> アスファルト露出防水 <input type="checkbox"/> シート防水、塗膜防水 <input type="checkbox"/> 勾配屋根(長尺金属板、折板) <input type="checkbox"/> 勾配屋根(スレート、瓦類) <input type="checkbox"/> その他の屋根 ( )			<input type="checkbox"/> 降雨時に雨漏りがある <input type="checkbox"/> 天井等に雨漏り痕がある <input type="checkbox"/> 防水層に膨れ・破れ等がある <input type="checkbox"/> 屋根葺材に錆・損傷がある <input type="checkbox"/> 笠木・立上り等に損傷がある <input type="checkbox"/> 樋やルーフトレを目視点検できない <input type="checkbox"/> 既存点検等で指摘がある			
2 外壁	<input type="checkbox"/> 塗仕上げ <input type="checkbox"/> タイル張り、石張り <input type="checkbox"/> 金属系パネル <input type="checkbox"/> コンクリート系パネル(ALC等) <input type="checkbox"/> その他の外壁 ( ) <input type="checkbox"/> アルミ製サッシ <input type="checkbox"/> 鋼製サッシ <input type="checkbox"/> 断熱サッシ、省エネガラス			<input type="checkbox"/> 鉄筋が見えているところがある <input type="checkbox"/> 外壁から漏水がある <input type="checkbox"/> 塗装の剥がれ <input type="checkbox"/> タイルや石が剥がれている <input type="checkbox"/> 大きな亀裂がある <input type="checkbox"/> 窓・ドアの廻りで漏水がある <input type="checkbox"/> 窓・ドアに錆・腐食・変形がある <input type="checkbox"/> 外部手すり等の錆・腐朽 <input type="checkbox"/> 既存点検等で指摘がある			

部位	修繕・点検項目	改修・点検年度	特記事項(改修内容及び点検等による指摘事項)	評価
3 内部仕上 (床・壁・天井)	<input type="checkbox"/> 老朽改修			
(内部建具)	<input type="checkbox"/> エコ改修			
(間仕切等)	<input type="checkbox"/> トイレ改修			
(照明器具)	<input type="checkbox"/> 法令適合			
(エアコン)等	<input type="checkbox"/> 校内LAN			
	<input type="checkbox"/> 空調設置			
	<input type="checkbox"/> 障害児等対策			
	<input type="checkbox"/> 防犯対策			
	<input type="checkbox"/> 構造体の耐震対策			
	<input type="checkbox"/> 非構造部材の耐震対策			
4 電気設備	<input type="checkbox"/> その他、内部改修工事			
	<input type="checkbox"/> 分電盤改修			
	<input type="checkbox"/> 配線等の敷設工事			
	<input type="checkbox"/> 昇降設備保守点検			
5 機械設備	<input type="checkbox"/> その他、電気設備改修工事			
	<input type="checkbox"/> 給水配管改修			
	<input type="checkbox"/> 排水配管改修			
	<input type="checkbox"/> 消防設備の点検			
	<input type="checkbox"/> その他、機械設備改修工事			

特記事項(改修工事内容や12条点検、消防点検など、各種点検等による指摘事項が有れば、該当部位と指摘内容を記載)

--

健全度
0 / 100点

### (3) 調査結果

評価の対象とした5つの部位ごとに、評価結果を集計しました（図2-8・2-9）。

屋根・屋上及び外壁についてはCもしくはD判定が多く認められており、屋根・屋上については小学校で約47%、中学校で約77%がCもしくはD判定を占めていました。また、外壁については小学校で約61%、中学校で約80%がCもしくはD判定となりました。内部仕上、電気設備、機械設備については小学校、中学校ともにC判定が多く、経年劣化による不具合をその都度、修繕対応をしている状況にあります。

健全度について令和2年度調査と比較すると、小学校で平均65点から53点に、中学校で平均56点から49点にそれぞれ下がっており、経年劣化が進んでいることがわかります。

各学校の評価結果と計算した健全度を表2-7、2-8、2-9に示します。

図2-8. 小学校の劣化状況調査結果

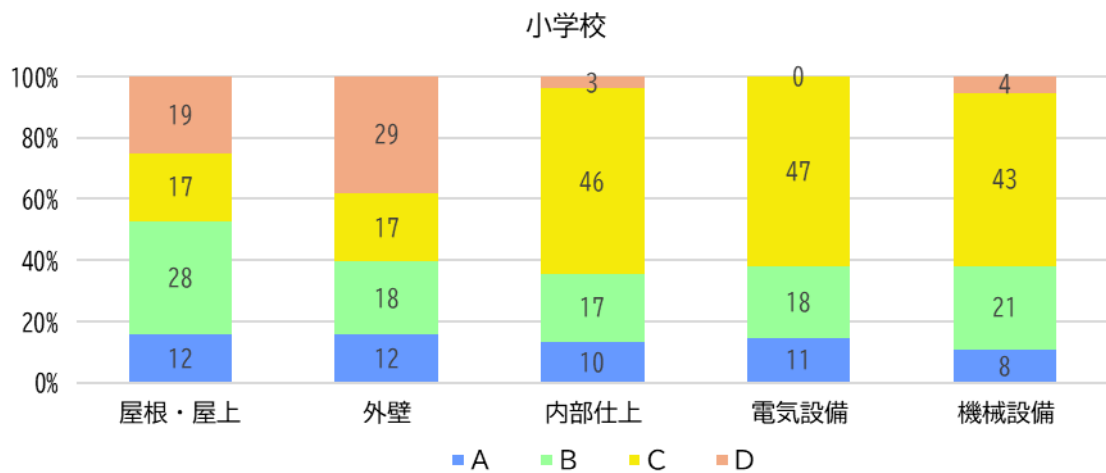


図2-9. 中学校の劣化状況調査結果





表 2-7. 各小学校の劣化状況調査結果一覧

										令和2年度調査						令和7年度調査							
										劣化状況評価						劣化状況評価							
通し 番号	施設名	建物名	棟番号	構造	階数	延床 面積 (㎡)	建築年 和暦	築年数	耐震 基準	屋根・ 屋上	外 壁	内 部 仕 上	電 気 設 備	機 械 設 備	健全度 (100点 満点)		屋根・ 屋上	外 壁	内 部 仕 上	電 気 設 備	機 械 設 備	健全度 (100点 満点)	健全度 増減
1	富野小学校	校舎1	10	RC	2	365	S58	42	新	D	D	D	B	B	27	→	C	D	C	C	C	33	7
2	富野小学校	校舎2	11	RC	2	166	S59	41	新	D	D	D	B	B	27	→	D	C	C	C	C	38	12
3	富野小学校	給食室	14	RC	1	196	H4	33	新	C	C	A	A	A	78	→	B	B	B	C	C	61	-16
4	富野小学校	体育館	15	RC	1	600	H7	30	新	D	C	A	A	A	75	→	D	B	B	B	C	62	-13
5	吉原小学校	校舎1	7	RC	2	244	S58	42	新	B	C	B	B	B	65	→	C	C	C	C	C	40	-25
6	吉原小学校	校舎2	8	RC	1	96	S60	40	新	B	B	B	B	B	75	→	B	D	C	C	C	35	-40
7	吉原小学校	校舎3	9	RC	2	500	H元	36	新	B	B	A	A	A	91	→	B	D	C	C	C	35	-55
8	吉原小学校	給食室	10	RC	1	196	H5	32	新	A	B	A	A	A	93	→	B	B	B	C	C	61	-31
9	吉原小学校	体育館	11	RC	1	600	H11	26	新	A	B	A	A	A	93	→	D	B	B	B	B	71	-22
10	川平小学校	校舎1	15	RC	2	365	S57	43	新	B	D	C	B	B	43	→	C	D	C	C	C	33	-10
11	川平小学校	校舎2	16	RC	2	55	S57	43	新	B	D	C	B	B	43	→	B	C	C	C	C	42	-1
12	川平小学校	校舎3	18	RC	1	165	S60	40	新	B	C	C	B	B	52	→	B	C	C	C	C	42	-10
13	川平小学校	給食室	20	RC	1	238	H3	34	新	B	B	B	B	B	75	→	B	B	C	C	C	50	-25
14	川平小学校	体育館	17	RC	1	680	S59	41	新	B	D	C	B	B	43	→	C	D	C	C	C	33	-10
15	崎枝小学校	校舎1	8	RC	1	255	S56	44	旧	D	C	C	B	B	46	→	D	C	C	C	C	38	-8
16	崎枝小学校	校舎2	9	RC	2	600	H元	36	新	B	C	C	B	B	52	→	B	C	C	C	C	42	-10
17	崎枝小学校	給食室	10	RC	1	196	H5	32	新	A	B	B	B	B	77	→	B	B	B	C	C	61	-16
18	名蔵小学校	校舎1	17	RC	1	77	S57	43	新	B	C	C	B	B	52	→	B	D	C	C	C	35	-16
19	名蔵小学校	校舎2	18	RC	1	302	S57	43	新	B	B	B	B	B	75	→	C	C	C	C	C	40	-35
20	名蔵小学校	校舎3	19	RC	1	168	S57	43	新	B	C	B	B	B	65	→	C	C	C	C	C	40	-25
21	名蔵小学校	体育館	20	RC	1	574	H17	20	新	B	B	A	A	A	91	→	B	B	B	B	B	75	-16
22	新川小学校	校舎1	5	RC	2	627	S48	52	旧	D	D	C	B	B	38	→	D	D	C	C	C	31	-6
23	新川小学校	校舎2	9	RC	2	868	S58	42	新	B	D	B	B	B	56	→	B	D	C	C	D	28	-28
24	新川小学校	校舎3	10	RC	2	1,997	S63	37	新	B	D	B	B	B	56	→	B	D	C	B	B	49	-7
25	新川小学校	校舎4	11,12	RC	2	1,244	S63	37	新	B	D	B	B	B	56	→	B	D	C	C	C	35	-21
26	新川小学校	校舎5	13,14	RC	2	421	S63	37	新	B	B	B	B	B	75	→	B	B	B	B	B	75	0
27	新川小学校	体育館	22	RC	2	1,215	H19	18	新	A	A	A	A	A	100	→	A	B	A	A	A	94	-6
	石垣小学校	校舎1	11	RC	3	1,971	S55	45	旧	B	D	D	C	C	23	解体							
	石垣小学校	校舎2	12	RC	3	1,835	S56	44	旧	B	D	D	C	C	23								
	石垣小学校	校舎3	13	RC	1	264	S57	43	新	B	C	B	B	B	65								
28	石垣小学校	校舎	16	RC	4	6,553	R3	4	新							築浅のため調査対象外							
29	石垣小学校	体育館	15	RC	1	1,215	H15	22	新	A	A	A	A	A	100	→	A	A	C	C	C	57	-43
30	登野城小学校	校舎1	19	RC	3	1,364	H28	9	新	A	A	A	A	A	100	→	A	A	A	A	A	100	0
31	登野城小学校	校舎2	20	RC	4	1,569	H29	8	新	A	A	A	A	A	100	→	A	A	A	A	A	100	0
32	登野城小学校	校舎3	21	RC	3	1,058	H29	8	新	A	A	A	A	A	100	→	A	A	A	A	A	100	0
33	登野城小学校	校舎4	22	RC	4	1,516	H29	8	新	A	A	A	A	A	100	→	A	A	A	A	A	100	0
34	登野城小学校	体育館	14	RC	1	1,049	S61	39	新	B	B	B	B	B	75	→	C	B	B	B	B	73	-2
35	平真小学校	校舎1	7	RC	2	1,130	S52	48	旧	D	D	C	C	D	25	→	D	D	C	C	D	24	-1
36	平真小学校	校舎2	11	RC	2	1,192	S57	43	新	B	D	B	B	B	56	→	B	D	C	C	C	35	-21
37	平真小学校	校舎3	12,13	RC	3	867	S59	41	新	B	B	B	B	B	75	→	B	C	C	C	C	42	-33
38	平真小学校	体育館	14	RC	3	1,215	H18	19	新	C	A	A	A	A	95	→	C	A	A	A	A	96	1



										令和2年度調査						令和7年度調査								
										劣化状況評価						劣化状況評価								
通し 番号	施設名	建物名	棟番号	構造	階数	延床 面積 (㎡)	建築年 和暦	築年数	耐震 基準	屋根・ 屋上	外 壁	内 部 仕 上	電 気 設 備	機 械 設 備	健全度 (100点 満点)		屋根・ 屋上	外 壁	内 部 仕 上	電 気 設 備	機 械 設 備	健全度 (100点 満点)	健全度 増減	
39	大浜小学校	校舎1	10	RC	3	1,566	S56	44	旧	D	D	D	B	B	27	→	B	A	D	C	C	46	19	
40	大浜小学校	校舎2	11	RC	2	537	S61	39	新	B	D	B	B	B	56	→	B	D	B	C	C	47	-10	
41	大浜小学校	体育館	12	RC	2	1,119	H2	35	新	D	C	B	B	B	59	→	D	C	B	B	B	63	4	
42	川原小学校	校舎1	9	RC	2	238	S58	42	新	B	D	C	B	B	43	→	C	C	D	C	C	30	-13	
43	川原小学校	校舎2	10	RC	1	103	S58	42	新	B	C	C	B	B	52	→	C	C	C	C	C	40	-12	
44	川原小学校	校舎3	11	RC	2	668	H10	27	新	B	A	B	B	B	82	→	C	B	D	B	B	52	-30	
45	川原小学校	体育館	12	RC	1	701	H23	14	新	A	A	A	A	A	100	→	A	B	A	A	A	94	-6	
46	大本小学校	校舎1	3	RC	1	102	S55	45	旧	B	B	B	B	B	75	→	C	B	C	C	C	48	-27	
47	大本小学校	校舎2	5	RC	2	350	S60	40	新	B	D	B	B	B	56	→	B	D	C	C	C	35	-21	
48	大本小学校	校舎3	7	RC	2	143	H17	20	新	A	A	A	A	A	100	→	B	A	B	B	B	81	-19	
49	大本小学校	体育館	6	RC	1	532	H元	36	新	B	B	B	B	B	75	→	B	D	C	C	C	35	-40	
50	宮良小学校	校舎1	10	RC	1	542	S57	43	新	D	D	C	C	B	33	→	D	D	C	C	C	31	-2	
51	宮良小学校	校舎2	11,13,14	RC	1	932	S57	43	新	D	D	C	B	B	38	→	D	D	C	C	C	31	-6	
52	宮良小学校	体育館	15	RC	2	894	H21	16	新	A	B	C	A	A	70	→	A	B	B	B	B	77	6	
53	白保小学校	校舎1	10	RC	2	425	S57	43	新	D	D	C	C	B	33	→	D	D	C	C	C	31	-2	
54	白保小学校	校舎2	11	RC	2	530	S61	39	新	D	D	C	C	B	33	→	D	D	C	B	B	45	12	
55	白保小学校	校舎3	14	RC	2	600	H30	7	新	A	A	A	A	A	100	→	A	A	A	A	A	100	0	
56	白保小学校	体育館	12	RC	2	997	H2	35	新	D	D	C	A	A	44	→	D	D	C	B	B	45	1	
57	伊野田小学校	校舎1	14	RC	2	569	H4	33	新	C	D	C	C	B	36	→	C	D	C	C	C	33	-2	
58	伊野田小学校	校舎2	18	RC	2	800	H28	14	新	B	B	A	A	A	91	→	B	A	B	A	B	84	-7	
59	伊野田小学校	給食室	15	RC	1	238	H6	31	新	C	C	A	A	A	78	→	C	C	B	B	B	65	-13	
60	伊野田小学校	体育館	16	RC	2	894	H16	21	新	A	B	A	A	A	93	→	B	B	B	B	B	75	-18	
61	明石小学校	校舎1	10	RC	2	448	S54	46	旧	D	D	C	B	B	38	→	D	D	C	C	C	31	-6	
62	明石小学校	校舎2	13	RC	1	187	S61	39	新	B	B	B	C	A	73	→	A	D	C	C	C	37	-36	
63	明石小学校	校舎3	15	RC	2	500	H5	32	新	C	D	C	B	A	43	→	C	D	C	C	C	33	-10	
64	明石小学校	給食室	14	RC	1	238	H4	33	新	A	C	C	B	B	54	→	D	D	C	C	C	31	-23	
65	明石小学校	体育館	16	RC	2	532	H27	10	新	A	A	A	B	A	97	→	A	A	A	A	B	94	-3	
	旧平久保小学校	校舎1	11	RC	1	293	S54	46	旧	D	C	D	B	C	31	閉校								
	旧平久保小学校	校舎2	12	RC	1	360	S57	43	新	C	C	C	C	B	44									
	旧平久保小学校	給食室	13	RC	1	238	H3	34	新	C	C	B	A	A	68									
	旧平久保小学校	体育館	10	RC	2	532	S54	46	旧	B	D	D	B	B	32									
66	野底小学校	校舎1	13,15	RC	1	706	S57	43	新	D	D	C	B	A	41	→	D	D	C	C	D	24	-17	
67	野底小学校	校舎3	17	RC	1	200	H23	14	新	A	A	A	A	A	100	→	A	A	A	A	B	94	-6	
68	野底小学校	給食室	14	RC	1	180	H6	31	新	C	B	B	A	A	78	→	B	D	C	C	B	44	-34	
69	野底小学校	体育館	16	RC	2	894	H22	15	新	C	B	B	A	A	78	→	C	C	C	B	B	54	-25	
70	八島小学校	校舎1	1,8	RC	2	1,268	H6	31	新	B	C	B	B	B	65	→	D	D	C	B	C	36	-29	
71	八島小学校	校舎2	2,6	RC	2	1,567	H6	31	新	B	C	B	B	B	65	→	D	D	C	C	D	24	-41	
72	八島小学校	校舎3	3,4	RC	1	1,314	H6	31	新	B	C	B	B	B	65	→	D	C	C	C	C	38	-27	
73	八島小学校	体育館特別教室棟	5,7	RC	1	1,273	H6	31	新	C	B	B	B	B	72	→	D	C	C	C	B	47	-25	
74	真喜良小学校	校舎1	1,2	RC	2	2,590	H9	28	新	A	B	B	B	B	77	→	B	B	C	C	C	50	-27	
75	真喜良小学校	校舎2	3,4	RC	2	2,161	H9	28	新	A	B	B	B	B	77	→	C	C	C	C	C	40	-37	
76	真喜良小学校	校舎3	6	RC	2	686	H9	28	新	A	B	B	B	B	77	→	B	B	B	B	B	75	-2	
77	真喜良小学校	体育館	5	RC	1	1,119	H9	28	新	A	B	B	B	B	77	→	B	B	B	B	B	75	-2	

表 2-8. 各中学校の劣化状況調査結果一覧

										令和2年度調査						令和7年度調査							
										劣化状況評価						劣化状況評価							
通し 番号	施設名	建物名	棟番号	構造	階数	延床 面積 (㎡)	建築年 和暦	築年数	耐震 基準	屋根・ 屋上	外 壁	内 部 仕 上	電 気 設 備	機 械 設 備	健全度 (100点 満点)	→	屋根・ 屋上	外 壁	内 部 仕 上	電 気 設 備	機 械 設 備	健全度 (100点 満点)	健全度 増減
78	川平中学校	校舎1	5	RC	2	626	S60	40	新	B	D	B	B	B	56	→	C	C	C	C	C	40	-16
79	川平中学校	校舎2	6	RC	2	549	H24	13	新	A	A	A	A	A	100	→	A	A	A	A	A	100	0
80	崎枝中学校	校舎1	12,13	RC	2	500	S58	42	新	B	D	C	B	B	43	→	D	D	C	C	C	31	-12
81	崎枝中学校	体育館	14	RC	1	830	S62	38	新	B	C	B	B	B	65	→	D	C	B	C	C	49	-16
82	名蔵中学校	校舎1	16,17	RC	1	225	S54	46	旧	B	C	C	B	B	52	→	C	C	C	C	C	40	-12
83	名蔵中学校	校舎2	18,19	RC	2	836	S61	39	新	B	D	C	B	B	43	→	C	C	C	C	C	40	-3
84	石垣中学校	校舎1	14,22	RC	4	2,000	S55	45	旧	D	D	C	B	B	38	→	D	D	C	C	C	31	-6
85	石垣中学校	校舎2	15	RC	2	1,034	S55	45	旧	C	C	B	B	B	62	→	C	C	C	C	C	40	-22
86	石垣中学校	校舎3	16,21	RC	3	1,862	S56	44	旧	D	D	C	B	B	38	→	D	D	C	C	C	31	-6
87	石垣中学校	校舎4	18	RC	3	750	H4	33	新	B	B	B	B	B	75	→	C	B	B	B	B	73	-2
88	石垣中学校	校舎5	17	RC	1	300	S60	40	新	B	B	B	B	B	75	→	C	B	C	C	C	48	-27
89	石垣中学校	体育館	19,20	RC	1	2,259	H4	33	新	C	C	B	B	B	62	→	C	D	B	B	B	58	-4
90	石垣第二中学校	校舎1	10,11	RC	2	2,321	S59	41	新	D	D	C	B	B	38	→	D	D	C	C	C	31	-6
91	石垣第二中学校	校舎2	12,13,20	RC	2	2,109	S60	40	新	D	D	C	B	B	38	→	D	D	D	C	C	22	-16
92	石垣第二中学校	校舎3	14	RC	2	448	S60	40	新	D	C	C	B	B	46	→	D	C	C	C	C	38	-8
93	石垣第二中学校	体育館	17,19	RC	2	2,408	H9	28	新	C	C	B	B	B	62	→	C	C	B	B	B	65	3
94	大浜中学校	校舎1	12,21,22	RC	3	1,695	S57	43	新	D	D	C	B	B	38	→	D	D	C	C	C	31	-6
95	大浜中学校	校舎2	13	RC	2	429	H元	36	新	C	C	C	B	B	49	→	C	C	C	B	B	54	5
96	大浜中学校	校舎3	14	RC	2	387	H元	36	新	C	C	C	B	B	49	→	C	C	C	B	B	54	5
97	大浜中学校	校舎4	18	RC	3	875	H7	30	新	B	B	B	B	B	75	→	B	B	B	B	B	75	0
98	大浜中学校	体育館	20	RC	2	1,816	H12	25	新	B	B	B	B	B	75	→	B	B	B	B	B	75	0
99	白保中学校	校舎1	12,13,15	RC	2	965	S55	45	旧	D	D	C	B	B	38	→	D	D	C	C	C	31	-6
100	白保中学校	校舎2	14	RC	2	597	H元	36	新	D	B	C	C	A	55	→	D	C	C	B	B	52	-3
101	白保中学校	体育館	18	RC	2	1,138	H20	17	新	A	B	A	A	B	90	→	A	B	A	A	B	88	-2
102	伊原間中学校	校舎1	15,16	RC	2	1,079	S57	43	新	D	D	C	C	A	36	→	D	D	D	C	C	22	-15
103	伊原間中学校	校舎2	17	RC	2	300	H5	32	新	D	C	C	A	A	53	→	C	D	C	C	B	42	-11
104	伊原間中学校	校舎3	22	RC	2	350	H25	12	新	A	C	A	A	A	83	→	A	C	A	A	A	86	4
105	伊原間中学校	給食室	21	RC	1	238	H8	29	新	C	C	C	B	B	49	→	B	C	C	B	C	47	-2
106	伊原間中学校	体育館	18,20	RC	2	1,380	H5	32	新	D	C	C	C	A	45	→	D	D	C	C	C	31	-13
107	富野中学校	校舎1	2	RC	2	538	S59	41	新	B	D	C	B	B	43	→	B	D	C	C	C	35	-8

表 2-9. 学校給食センターの評価結果一覧

通し 番号	施設名	建物名	棟番号	構造	階数	延床 面積 (㎡)	建築年 和暦	築年数	耐震 基準	令和2年度調査						令和7年度調査						健全度 増減
										劣化状況評価						劣化状況評価						
										屋根・ 屋上	外 壁	内 部 仕 上	電 気 設 備	機 械 設 備	健全度 (100点 満点)	屋根・ 屋上	外 壁	内 部 仕 上	電 気 設 備	機 械 設 備	健全度 (100点 満点)	
108	石垣市学校給食センター	給食センター	1	RC	1	2,262	H25	12	新	A	A	A	A	A	100	築浅のため調査対象外						
109	石垣市学校給食センター	機械室棟	2	RC	1	240	H25	12	新	A	A	A	A	A	100	築浅のため調査対象外						

## 第3章 長寿命化の実施計画

### 第1節 改修等の優先順位付け

今回の調査で対象とした109棟の施設のうち、文部科学省の指針上、早期に対策を実施することが望ましいとされる健全度40点未満の建物は、令和2年度調査では22棟でしたが、経年劣化等が進み、39棟に増加しました。

表3-1. 健全度40点未満の建物（小学校）

通し 番号	施設名	建物名	棟番号	構造	階数	延床 面積 (㎡)	和暦	築年数	耐震 基準	屋根・ 屋上	外壁	内部仕 上	電気設 備	機械設 備	健全度 (100点 満点)
1	富野小学校	校舎1	10	RC	2	365	S58	42	新	C	D	C	C	C	33
2	富野小学校	校舎2	11	RC	2	166	S59	41	新	D	C	C	C	C	38
6	吉原小学校	校舎2	8	RC	1	96	S60	40	新	B	D	C	C	C	35
7	吉原小学校	校舎3	9	RC	2	500	H元	36	新	B	D	C	C	C	35
10	川平小学校	校舎1	15	RC	2	365	S57	43	新	C	D	C	C	C	33
14	川平小学校	体育館	17	RC	1	680	S59	41	新	C	D	C	C	C	33
15	崎枝小学校	校舎1	8	RC	1	255	S56	44	旧	D	C	C	C	C	38
18	名蔵小学校	校舎1	17	RC	1	77	S57	43	新	B	D	C	C	C	35
22	新川小学校	校舎1	5	RC	2	627	S48	52	旧	D	D	C	C	C	31
23	新川小学校	校舎2	9	RC	2	868	S58	42	新	B	D	C	C	D	28
25	新川小学校	校舎4	11,12	RC	2	1,244	S63	37	新	B	D	C	C	C	35
35	平真小学校	校舎1	7	RC	2	1,130	S52	48	旧	D	D	C	C	D	24
36	平真小学校	校舎2	11	RC	2	1,192	S57	43	新	B	D	C	C	C	35
42	川原小学校	校舎1	9	RC	2	238	S58	42	新	C	C	D	C	C	30
47	大本小学校	校舎2	5	RC	2	350	S60	40	新	B	D	C	C	C	35
49	大本小学校	体育館	6	RC	1	532	H元	36	新	B	D	C	C	C	35
50	宮良小学校	校舎1	10	RC	1	542	S57	43	新	D	D	C	C	C	31
51	宮良小学校	校舎2	11,13,14	RC	1	932	S57	43	新	D	D	C	C	C	31
53	白保小学校	校舎1	10	RC	2	425	S57	43	新	D	D	C	C	C	31
57	伊野田小学校	校舎1	14	RC	2	569	H4	33	新	C	D	C	C	C	33
61	明石小学校	校舎1	10	RC	2	448	S54	46	旧	D	D	C	C	C	31
62	明石小学校	校舎2	13	RC	1	187	S61	39	新	A	D	C	C	C	37
63	明石小学校	校舎3	15	RC	2	500	H5	32	新	C	D	C	C	C	33
64	明石小学校	給食室	14	RC	1	238	H4	33	新	D	D	C	C	C	31
66	野底小学校	校舎1	13,15	RC	1	706	S57	43	新	D	D	C	C	D	24
70	八島小学校	校舎1	1,8	RC	2	1,268	H6	31	新	D	D	C	B	C	36
71	八島小学校	校舎2	2,6	RC	2	1,567	H6	31	新	D	D	C	C	D	24
72	八島小学校	校舎3	3,4	RC	1	1,314	H6	31	新	D	C	C	C	C	38

表 3-2. 健全度 40 点未満の建物（中学校）

通し 番号	施設名	建物名	棟番号	構造	階数	延床 面積 (㎡)	和暦	築年数	耐震 基準	屋根・ 屋上	外 壁	内 部 仕 上	電 気 設 備	機 械 設 備	健全度 (100点 満点)
80	崎枝中学校	校舎1	12,13	RC	2	500	S58	42	新	D	D	C	C	C	31
84	石垣中学校	校舎1	14,22	RC	4	2,000	S55	45	旧	D	D	C	C	C	31
86	石垣中学校	校舎3	16,21	RC	3	1,862	S56	44	旧	D	D	C	C	C	31
90	石垣第二中学校	校舎1	10,11	RC	2	2,321	S59	41	新	D	D	C	C	C	31
91	石垣第二中学校	校舎2	12,13,20	RC	2	2,109	S60	40	新	D	D	D	C	C	22
92	石垣第二中学校	校舎3	14	RC	2	448	S60	40	新	D	C	C	C	C	38
94	大浜中学校	校舎1	12,21,22	RC	3	1,695	S57	43	新	D	D	C	C	C	31
99	白保中学校	校舎1	12,13,15	RC	2	965	S55	45	旧	D	D	C	C	C	31
102	伊原間中学校	校舎1	15,16	RC	2	1,079	S57	43	新	D	D	D	C	C	22
106	伊原間中学校	体育館	18,20	RC	2	1,380	H5	32	新	D	D	C	C	C	31
107	富野中学校	校舎1	2	RC	2	538	S59	41	新	B	D	C	C	C	35

健全度が 40 点未満の建物にはD判定となっている部位が複数含まれているため、部位修繕での対応も含め、総合的に判断して対策工事を検討します。

現段階では、下記の優先順位を基本とし、今後の施設の適正化方針とも合わせて対策工事の順番を決めることとします。

優先順 1：新耐震基準で、健全度が 40 点未満の建物

優先順 2：新耐震基準で、健全度が 40 点以上の建物

また、改築又は長寿命化のための改修を実施するまでには期間の猶予がある建物のうち、評価対象部位に D 判定があり、緊急性の高い対応を要する建物については、部位修繕を行います。

## 第2節 5年間の実施計画

本計画の計画期間のうち後半5年間にあたる期間で実施する予定の工事を下表に示します。  
具体的な実施の時期については、本市の他の事業等も含めて判断した上で決定します。

表 3-3. 直近5年間の個別施設の整備計画

(単位:百万円)

年度 事業名称		2026		2027		2028		2029		2030	
		R8		R9		R10		R11		R12	
		学校名	事業費	学校名	事業費	学校名	事業費	学校名	事業費	学校名	事業費
施設 整備	新增築事業										
	改築事業										
	耐震化事業									石垣中学校(武道場・天井)(設計)	1.0
										石垣第二中学校(武道場・天井)(設計)	1.0
										伊原間中学校(武道場・天井)(設計)	1.0
	長寿命化改良※1	石垣中学校(耐力度調査)	30.4	石垣中学校(設計) 平真小学校(耐力度調査)	61.8 15.0	石垣中学校(設計) 平真小学校(設計)	169.0 48.8	石垣中学校(工事) 平真小学校(設計) 大浜中学校(耐力度調査) 白保中学校(耐力度調査)	912.3 113.8 21.8 10.0	石垣中学校(工事) 平真小学校(工事) 大浜中学校(設計) 白保中学校(設計) 宮良小学校(耐力度調査) 白保小学校(耐力度調査)	700.1 813.2 31.5 14.5 10.0 10.0
	空調設備※2※3	全小中学校(特別教室) 石垣第二中学校(特別教室) 白保中学校(特別教室) 大浜中学校(特別教室) 石垣第二中学校(体育館)(工事)	205.0 69.3 36.6 47.0 70.0	石垣第二中学校(体育館)(工事) 大浜中学校(体育館)(工事) 石垣中学校(体育館)(設計) 宮良小学校(体育館)(設計)	42.3 70.0 13.0 13.0	大浜中学校(体育館)(工事) 石垣中学校(体育館)(工事) 石垣小学校(体育館)(設計) 平真小学校(体育館)(設計)	42.3 70.0 13.0 13.0	石垣中学校(体育館)(工事) 宮良小学校(体育館)(工事) 石垣小学校(体育館)(工事) 平真小学校(体育館)(工事) 白保中学校(体育館)(工事) 白保中学校(体育館)(設計) 名蔵小中学校(体育館)(設計) 豊野城小学校(体育館)(設計) 伊原間中学校(体育館)(設計)	42.3 70.0 70.0 70.0 70.0 13.0 13.0 13.0 13.0	宮良小学校(体育館)(工事) 石垣小学校(体育館)(工事) 平真小学校(体育館)(工事) 白保中学校(体育館)(工事) 名蔵小中学校(体育館)(工事) 豊野城小学校(体育館)(工事) 伊原間中学校(体育館)(工事) 伊野田小学校(体育館)(設計) 川原小学校(体育館)(設計) 吉原小学校(体育館)(設計)	42.3 42.3 42.3 70.0 70.0 70.0 70.0 13.0 13.0 13.0
	部位修繕	全小中学校	202.9	全小中学校	175.9	全小中学校	177.7	全小中学校	174.2	全小中学校	176.4
	その他施設整備	全小中学校(LED) 石垣第二中学校(体育館のLED) 大浜中学校(体育館のLED)	749.9 25.0 25.0	平真小学校(体育館のLED)	25.0	石垣中学校(体育館のLED) 新川小学校(解体)	25.0 56.4	宮良小学校(体育館のLED)	25.0		
	維持修繕費	全小中学校	86.7	全小中学校	86.7	全小中学校	86.7	全小中学校	86.7	全小中学校	86.7
	光熱水費・委託費	全小中学校	138.6	全小中学校	135.8	全小中学校	135.8	全小中学校	135.8	全小中学校	135.8
合計金額			1,686.4		638.4		837.6		1,783.8		2,427.0

※1 耐力度調査の結果に加え、経済性や教育的機能上などの観点等の総合的な判断により新增築事業、改築事業等に移行する際には見直しを図る。

※2 体育館の空調設備については断熱工事を含む。

※3 2025(R7)年度に石垣第二中学校、大浜中学校の体育館空調設備及び断熱(設計)を行う。事業費は、石垣第二中学校19.1百万円、大浜中学校20.5百万円。

※4 計画であるため、予算の確保や関係各所との調整により、その年度に実施できない場合は、実施年度が繰り下がる。

### 【用語解説】

新增築事業 : 新しい校舎を建設する、または既存施設に増築を行う事業

改築事業 : 老朽化した既存施設を取り壊し、新しい建物に建て替える事業

耐震改築事業 : 既存建物(構造部及び非構造部)の耐震性能を向上させるための補強工事

長寿命化改良 : 校舎などの施設の長寿命化を目的とした建物の全面的(内部・外部ともに)な改良工事及び、  
施設の長寿命化を目的とした予防的な外部等の改修工事

空調設備 : 教室や体育館へ空調設備を設置する工事

部位修繕 : 劣化や損傷へ対応するために実施する部分的な修繕工事

維持修繕 : 日常的な維持管理や軽微な修繕



### 第3節 中長期的なコストの見通し

#### (1) 推計の条件

本市が保有する学校施設を施設数、延床面積ともに現在の規模で保持した場合にかかる更新費用の試算を行いました。推計期間は文部科学省より配布されている将来更新費用推計用のコスト試算ツール（令和5年版）の仕様である40年間で試算しています。過去の施設整備費用については、前述の建設事業費の実績を反映させ、今後のランニングコストの見通しについては、2024年度決算の光熱水費とその他の経費の実績値を反映させました。

推計の条件は2通りあり、1つはこれまでと同様に、建替えの時期が到来した際に既存の建物を取り壊し、新たに建設する方法。もう1つは建替えの時期が到来する前に建物の長寿命化を図る改修工事を実施し、これまでよりも長い期間、同じ建物を使用してから建替えを実施する方法です。それぞれの推計条件については表3-4の通りです。

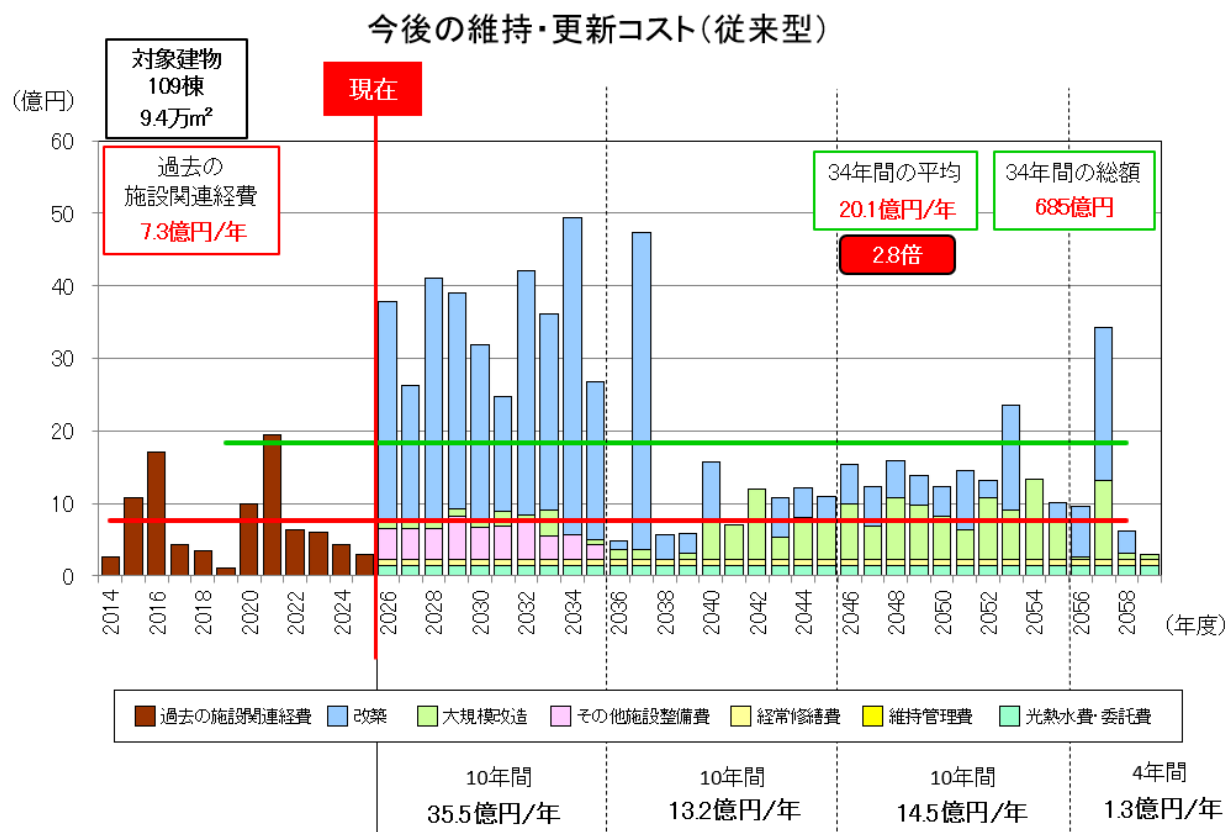
表3-4. 更新費用の推計条件

費用区分		費用内容	時期	金額・単価
過去の施設関連経費		2020年～2024年までに発生した施設の整備・修繕工事の費用	－	4.4億円
改築		長寿命化改修工事をしない施設の改築（建替え）にかかる費用	築40年	510,000円/㎡
長寿命化改良	長寿命化事業	施設の長寿命化を目的とした建物一棟（内部・外部ともに）全面的に実施する改良工事の費用	築40年以上	310,000円/㎡
	予防改修事業	施設の長寿命化を目的とした予防的な外部等の改修工事の費用	築20年以上 40年未満	100,000円/㎡
長寿命化改修後の改築		長寿命化事業実施30年以上使用した後の改築（建替え）工事	築70年以上	510,000円/㎡
大規模改造（質的整備）		トイレ改善、空調設置、バリアフリー化、教育環境の変化に伴う改装等の大規模な改造に要する費用	20年周期	校舎：130,000円/㎡ 体育館：110,000円/㎡ その他：130,000円/㎡

## (2) 試算結果（従来型）

これまでの工事方法と同様に、建替え時期が到来した際に同規模で建替えることを想定した場合の推計結果を図 3-1 に示します。

図 3-1. 今後の維持・更新コスト（従来型）

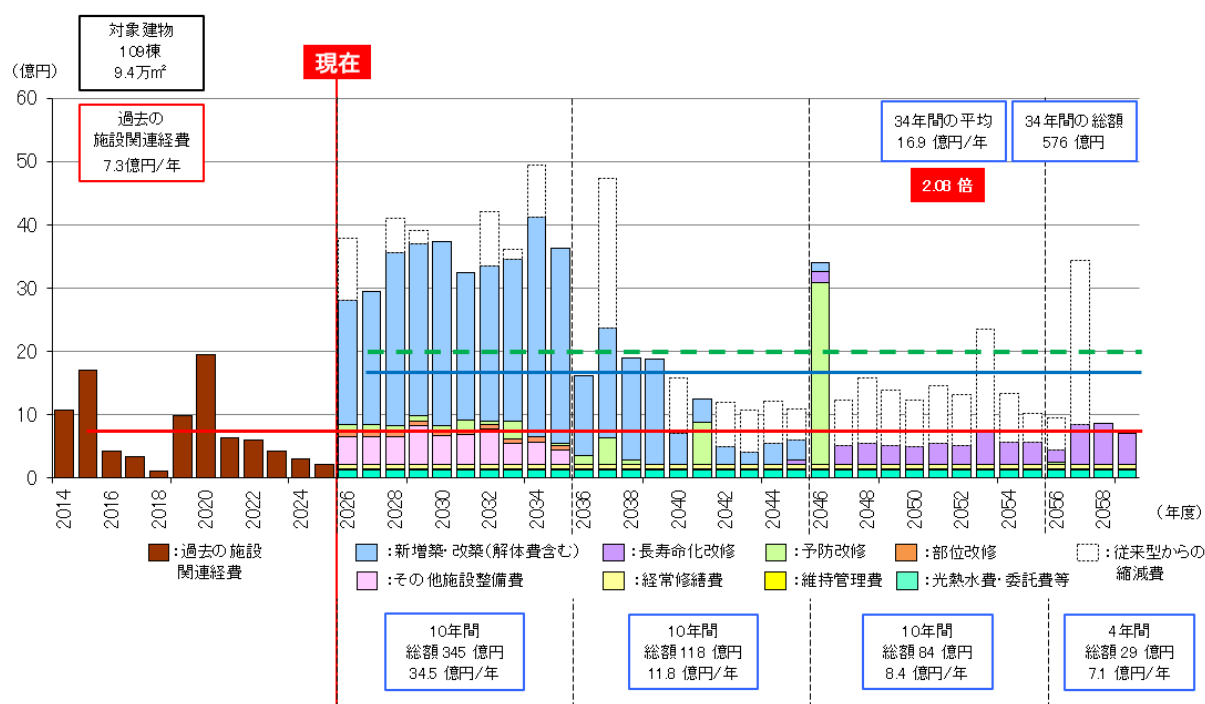


従来型の推計結果では、今後 34 年間で計 685 億円、1 年あたりに換算すると約 20.1 億円の維持・更新コストが発生する推計となりました。この 1 年あたりの更新費用は、過去の施設関連経費の平均額（約 7.3 億円）の約 2.8 倍となります。推計の基準年とした 2025 年時点で築 30 年以上が経過している建物の改築工事が今後 10 年間に集中しており、直近の 10 年間は 1 年あたりの維持更新コストが 35.5 億円（過去の施設関連経費の平均額の約 4.9 倍）となっています。

## (3) 試算結果（長寿命化型）

建物の長寿命化を図る改修工事、ここでいう長寿命改良の実施について、推計基準年時点で①築 20 年以内の建物（21 棟：24,127 ㎡）を対象とした場合、②築 30 年以内の建物（34 棟：40,237 ㎡）を対象とした場合、③築 40 年以内の建物（75 棟：69,785 ㎡）を対象とした場合の 3 パターンで推計しています。それぞれのパターンの推計結果を図 3-2、図 3-3、図 3-4 に示します。

図 3-2. 今後の維持・更新コスト（築 20 年以内の建物に対して長寿命化改良を実施）



築 20 年以内の建物を長寿命化改良の対象とした試算結果では、34 年間で計 576 億円、1 年あたりに換算すると約 16.9 億円の維持・更新コストが発生する推計結果となりました。従来型と比べ、34 年間の総額で 109 億円、1 年あたり 3.2 億円が削減される見込みとなります。推計時点で築 30 年以上が経過している建物が大半となっていることから、長寿命化改良を実施することが可能となる対象施設が限られており、今後 20 年間に発生する費用は従来型とほとんど変わらない推計となりました。



対象建物  
108棟  
9.4万㎡

過去の  
施設関連経費  
7.3億円/年

現在

34年間の平均  
16 億円/年

34年間の総額  
546 億円

219 倍

10年間  
総額 345 億円  
35 億円/年

10年間  
総額 89 億円  
8.9 億円/年

10年間  
総額 84 億円  
8.4 億円/年

4年間  
総額 29 億円  
7.1 億円/年

（年度）

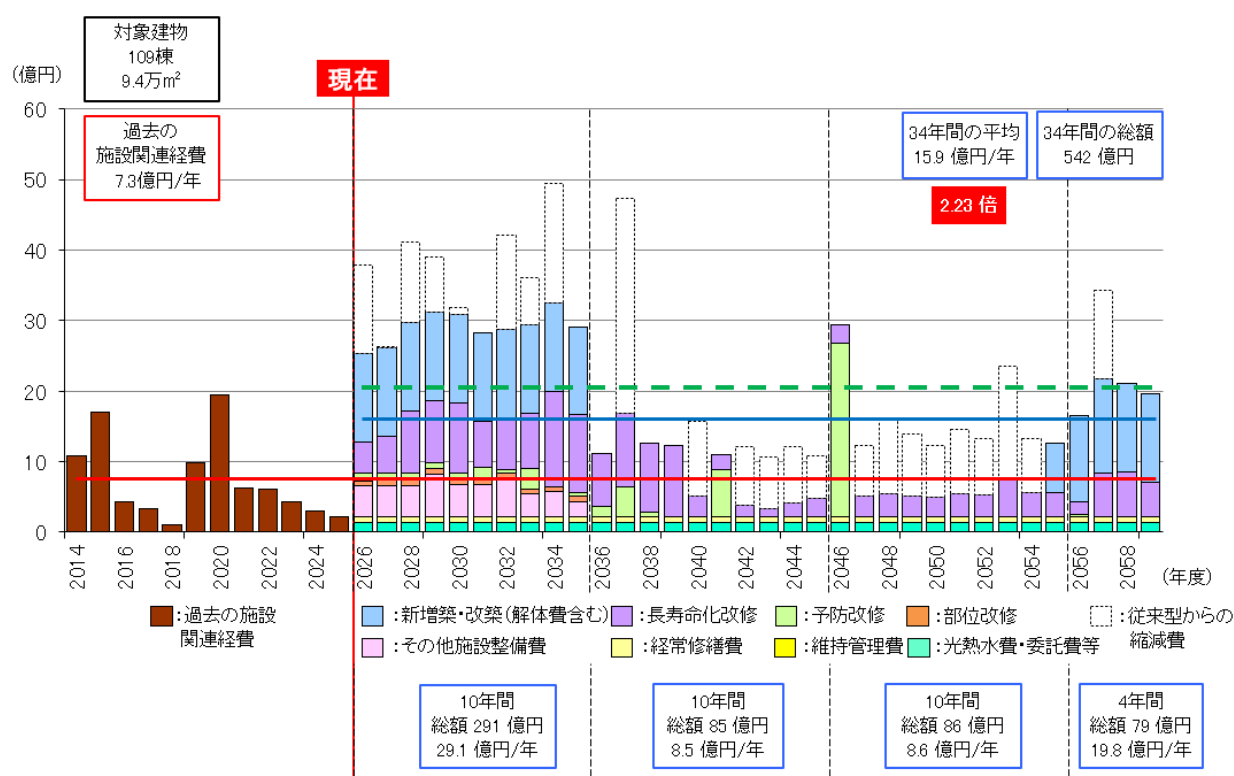
■：過去の施設  
関連経費

■：新増築・改築（解体費含む） ■：長寿命化改修 ■：予防改修 ■：部位改修 ■：将来型からの  
縮減費

■：その他施設整備費 ■：経常修繕費 ■：維持管理費 ■：光熱水費・委託費等

2036 年以降の維持・更新コストは大幅な削減が見込まれており、おおむね過去の施設関連経費と同程度の事業費が見込まれていますが、直近の 10 年間の維持・更新費用については、従来型とほとんど変化がない状況となっています。

図 3-4. 今後の維持・更新コスト（築 40 年以内の建物に対して長寿命化改良を実施）



築 40 年以内の建物を長寿命化改良の対象とした試算結果では、34 年間で計 542 億円、1 年あたりに換算すると約 15.9 億円の維持・更新コストが発生する推計結果となりました。従来型と比べると、34 年間の総額で 143 億円、1 年あたり 4.2 億円が削減される見込みとなります。過去の施設関連経費の約 3.8 倍となる 1 年当たり 29 億円が発生する見込みとなっています。

築 30 年以上の建物が長寿命化改良の対象となったことで、34 年間の総額、直近 10 年間の事業費ともに従来型、他の長寿命化型の推計結果より低い額が見込まれています。ただし、直近 10 年間で長寿命化改良を実施した建物の改築（建替え）が 2055 年からの 10 年間に発生することになります。

2055 年以降の整備費については、児童生徒の減少が想定されていることから、今後の適正化によりコストの削減が見込まれます。

## 第4章 学校施設の目指すべき姿

---

### 第1節 学校施設整備の基本方針

本市の教育方針として掲げている教育環境の安全・安心を図ることや少子化・高齢化及び情報化・国際化等の社会に対応した教育を推進することの実現に向け、学校教育の環境整備については、学校施設の安全性の確保、多様化する教育内容への対応、地域との相互連携が必要とされています。

以上の観点から、学校施設の基本方針として以下の3点を設定しました。

#### 1. 安全・安心な学校施設

- ・施設の安全・安心を確保するため、施設設備の老朽化対策、耐震対策、防犯対策などを計画的に実施します。
- ・児童生徒の安全に直結する危険箇所については、優先し、応急的な対応を含めた迅速な改善を行うことで、安全・安心な学校施設の確保を図ります。
- ・学校施設は地域コミュニティの活動拠点でもあり、災害時の避難施設でもあるため、平時においては熱中症対策、有事の際には避難所としての機能強化に向け、校舎や体育館における空調設備等の設置を推進します。

#### 2. 教育環境の充実した学校施設

- ・多様化する教育活動と学習形態に対応した施設の整備を実施します。

#### 3. 人と環境にやさしい学校施設

- ・学校施設は児童・生徒が一日の大半を過ごす場所であることから、施設の生活環境を向上させる施設整備を実施します。
- ・障がいの有無を問わず安全に施設の利用ができるよう、ユニバーサルデザインを取り入れるなどのバリアフリー化を検討します。
- ・地球温暖化対策、循環型社会への対応を推進するため、照明のLED化による環境負荷の低減に配慮した施設の整備を実施します。

## 第5章 学校施設整備の基本的な方針等

### 第1節 学校施設の規模・配置計画等の方針

前章の目指すべき姿の実現に向けて、総合管理計画における基本方針を踏まえた学校教育施設の本計画における基本的な方針を示します。

#### (1) 公共施設等総合管理計画における基本方針（抜粋）

公共施設等総合管理計画（改訂版） 公共施設の管理に関する基本方針
<p>1. 住民一人当たりの延床面積を現在の水準に維持する</p> <p>本市が目指す人口の将来展望では、今後も総人口の増加を見込んでいます。人口の増加に伴い施設需要が増す可能性もありますが、現在の保有量をすべて更新するだけの充当可能財源の確保は難しい状況となっていますので、住民一人当たりの延床面積を現在の水準で維持できるよう、施設総量の規制を行います。</p>
<p>2. 施設を建設する際にライフサイクルコストの低減を図る</p> <p>既存の建物の更新、新規の建物の建設を問わず、新しい建物を建設する必要がある際には、初期の建設事業費だけではなく、維持管理に係るコストの低減も図れる設計を導入します。</p>
<p>3. 既存施設の更新の際には複合化を検討する</p> <p>施設総量の規制の中で長期的にみた今後の市民ニーズの変化に対応することができるよう、建物の建設の際には1施設で複数の機能を有するデザインの導入を検討します。</p>

学校教育施設 現状と課題
<p>本市の教育方針として掲げている教育環境の安全・安心を図ることや少子化・高齢化及び情報化・国際化等の社会に対応した教育を推進することの実現に向け、学校教育の環境整備については、学校施設の安全性の確保、多様化する教育内容への対応、地域との相互連携が必要とされています。</p> <p>このため、今後はそれぞれの施設の状況を把握し、施設の整備、維持保全の適正化を行い、財政負担軽減・平準化が求められています。</p>

#### 学校教育施設 今後の管理方針（小学校・中学校に関する部分を抜粋）

学校施設の中長期的な維持管理等に係るコストの縮減、施設の長寿命化等による財政負担の軽減を図りながら、学校施設に求められる機能及び性能を確保し、子供たちが安全・安心に学校施設を利用できるような教育環境の整備を実施することを目的とした「石垣市学校施設等長寿命化計画」を策定しています。

市内の学校は、いずれも地域文化の活動拠点や防災関連機能など各地域で重要な役割を果たしています。学校施設の配置については地理的条件や各地域における役割等を含め、当面既存の施設を機能させる方針ではありますが、今後の児童・生徒数の推移を見ながら学校施設の適正規模・適正配置の検討が必要です。

#### （２）本計画における基本方針

本市の児童生徒数は市街地以外で減少傾向が著しく、多くの学校が小学校５学級以下の過小規模校となっていて、中には複式学級、あるいは学年によって児童・生徒がいない学校もあります。へき地（４～５級地）極小規模校とされる学校がある西部地区並びに北部地区では複数校が合同で実施する集合学習の取り組みも実施しています。児童・生徒数は今後も減少傾向と推計されており、学校の小規模化がさらに進むことも見込まれます。

第３章の今後の更新費用の推計結果からも、限られた財源の下、持続可能で充実した教育環境を維持することを鑑みると、現在の施設規模を維持することは困難であることから、施設数並びに施設規模の最適化を図るため、中長期的な学校施設の適正化を検討します。

## 第２節 改修等の基本的な方針

#### （１）長寿命化の方針

本市の公共施設は学校施設に限らず、これまでおおむね４０年の周期で建替え工事を実施してきました。これは、離島という特徴から、様々な公共施設が潮風にさらされ、塩害の影響も受けていること等に起因しています。本計画の上位計画にあたる総合管理計画の基本方針の１つとして掲げられた「施設を建設する際にライフサイクルコストの低減を図る」という方針を踏まえ、可能な限り長期間の利用ができるよう、予防保全に努めます。

#### （２）目標使用期間の設定

築３０年以上が経過している建物については、使用可能期間を延ばすにも限りがありますが、現時点で築１０年未満の建物と、今後建替えをした後の建物については、目標使用期間を７０年間とします。

### 第3節 改修等の整備水準

学校施設の目指すべき姿の実現に向け、各学校の日常的な点検で確認された修繕箇所等について、安全性の確保を最優先に実施します。また、定期点検の結果に基づき、各種法令への適合化を図ります。

整備の水準は、躯体や各部位、各設備が次の改修工事まで学校教育の通常稼働に際して支障を生じさせない状態を維持できることを目安として実施します。また、学校間で教育環境に差が生じないよう、可能な限り整備水準の統一を図ります。

### 第4節 維持管理の項目・手法等

予防保全を実施していくためには、故障や不具合の兆候を早期に発見して対処することが重要となります。そのため、教職員や施設管理者等による日常点検の実施のほか、各種定期点検を適切に実施するなど、学校施設の状態を把握し、計画的な修繕を実施していく必要があります。

本計画の劣化状況の現地調査で用いた劣化状況調査票の調査項目を基礎として、点検を継続的に実施することとします。

## 第6章 長寿命化計画の運用

### 第1節 情報基盤の整備と活用

学校施設の長寿命化及び更新や維持管理を効率的かつ効果的に実行していくためには、施設の管理にかかる情報を継続的に収集し、管理を行う必要があります。本計画の進捗管理も含め、今後は下記の3つの情報の蓄積に取り組みます。

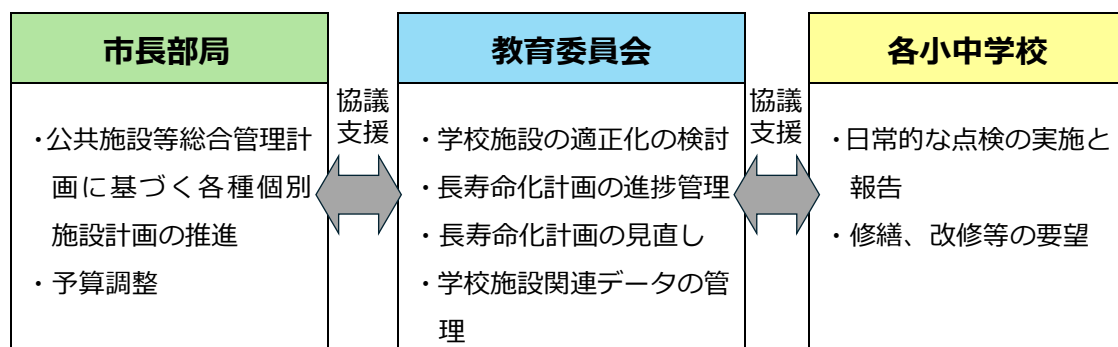
- (1) 学校施設の修繕履歴
- (2) 学校施設のランニングコスト
- (3) 学校施設の長寿命化・更新費用

### 第2節 推進体制等の整備

学校施設の管理を所管する教育委員会が中心となり、本計画を含む学校施設のマネジメントを推進することとします。各学校の日常的な管理や運営については各小中学校と協力し、施設に関する不具合箇所等の情報共有を積極的に行います。また、学校施設の更新工事に際しては、他の個別施設計画の更新計画との調整や財源に関する調整が必要となりますので、市長部局の関係課と協議をしながら計画の推進に取り組みます。

学校施設の適正化の検討については、必要に応じて各関係所管課と協議を行い、連携を図りながら推進していきます。

図 6-1. 学校施設等長寿命化計画の推進体制のイメージ図

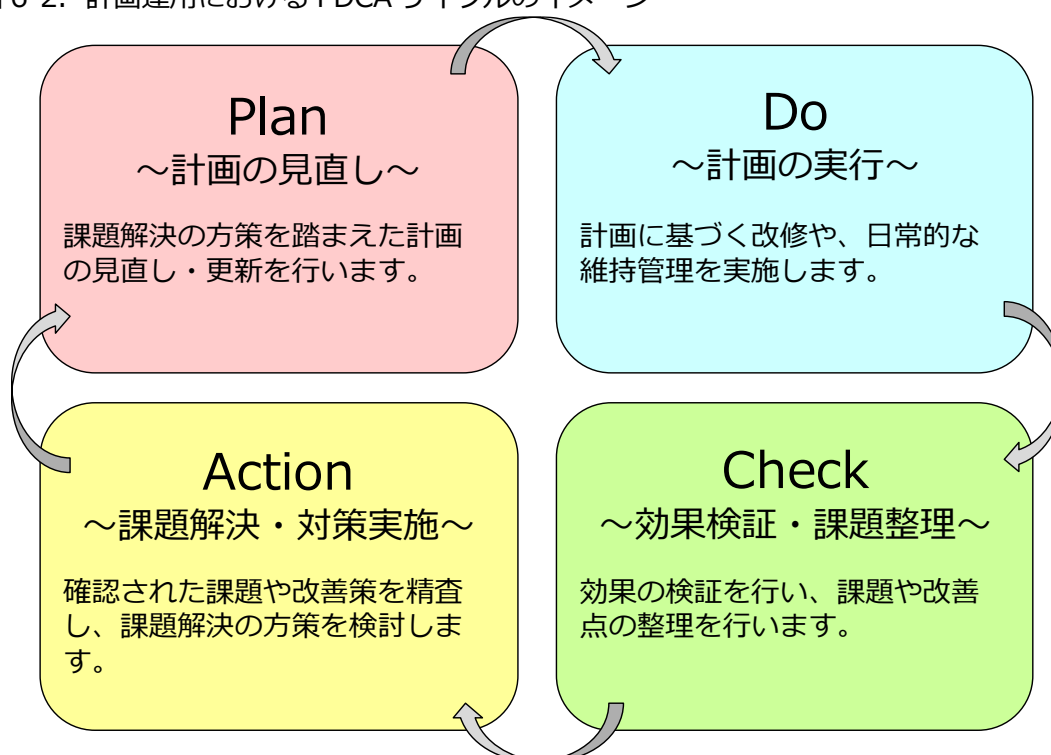


### 第3節 計画のフォローアップ

本計画の土台となっている学校施設の老朽化状況や教育環境等は今後も年々、変化していくことが想定されます。学校施設整備の実施と同時に総合管理計画や学校教育に関する基本方針等、本計画の上位計画にあたる計画との整合性を図っていく必要があることから、これらの計画の見直しや更新に伴い、本計画に見直しの必要が生じた場合は適宜改訂を行っていくこととします。

また、本計画の進捗状況や計画実行の中で発生する課題の解決等については、PDCA サイクルに基づく改善を図りながら、計画を推進していきます。

図 6-2. 計画運用における PDCA サイクルのイメージ





## 第7章 学校施設の適正規模の検討

---

### 第1節 基本的な考え方

本市は行政面積が非常に広く、島の海岸沿いに形成された各集落に学校施設を整備してきたことにより、他市と比較して学校数が多い状況となっています。市街地と市街地以外の地区とでは児童・生徒数に著しい差が認められており、市街地以外の地区の学校の中には児童・生徒数の減少が今後も続くことが見込まれている学校もあります。このような現状と、前述の維持更新コストの推計結果を勘案すると、現在の学校施設を保持したまま小規模な学校施設を継続的に使用することよりも、将来を踏まえた施設数や規模を精査のうえ学校施設の適正化を図り、1つ1つの学校がより充実した学習環境の構築を検討することが望ましいと考えられます。

### 第2節 施設保有量の他団体比較

沖縄県内の他市と学校施設の保有量についての比較を行いました。学校数、学級数、児童・生徒数については令和7年度学校基本調査より引用しています。

#### (1) 小学校の学校数と学級数の比較

県内の小学校について、学校数、学級数、児童数の比較表を表7-1に示しています。本市の人口は約4万8千人ですが、小学校は19校あり、人口約31万人の那覇市に次いで2番目に多くなっています。

一方、学級数は170学級で、南城市に次いで、2番目に少なく、学級数を学校数で除した1校あたりの学級数は8.9で、県内で最も小さな値となっています。また、児童数を学校数で除した1校あたりの児童数は166.7人で、1校あたりの学級数と同様に県内で最も小さな値となっています。

これらのことから、本市の小学校は、小規模な学校が数多く存在していることがわかります。

編制方式別の学級数の内訳を図7-2に示しています。行政面積の大きい名護市、宮古島市、石垣市及び南城市で複式学級が設定されていますが、当市の複式学級の数も20学級と県内他市と比べて明らかに多い状況となっています。

表 7-1. 県内小学校の比較

市町村	人 口	児童数	学校数	学級数 (うち複式学級数)	1 校あたり 児童数	1 校あたり 学級数
那覇市	309,372	17,463	36	759 (0)	485.1	21.1
宜野湾市	100,219	6,286	9	277 (0)	698.4	30.8
石垣市	47,502	3,167	19	170 (20)	166.7	8.9
浦添市	115,446	7,222	11	329 (0)	656.5	29.9
名護市	64,794	4,397	15	230 (3)	293.1	15.3
糸満市	60,878	4,468	11	208 (0)	406.2	18.9
沖縄市	141,079	9,172	16	412 (0)	573.3	25.8
豊見城市	64,843	5,149	8	227 (0)	643.6	28.4
うるま市	127,328	8,701	18	398 (1)	483.4	22.1
宮古島市	52,919	3,315	16	185 (9)	207.2	11.6
南城市	46,367	3,542	9	167 (3)	393.6	18.6

※人口は令和 7 年 5 月 1 日時点の住民基本台帳人口を用いています。

図 7-1. 小学校の学校数及び学級数の比較

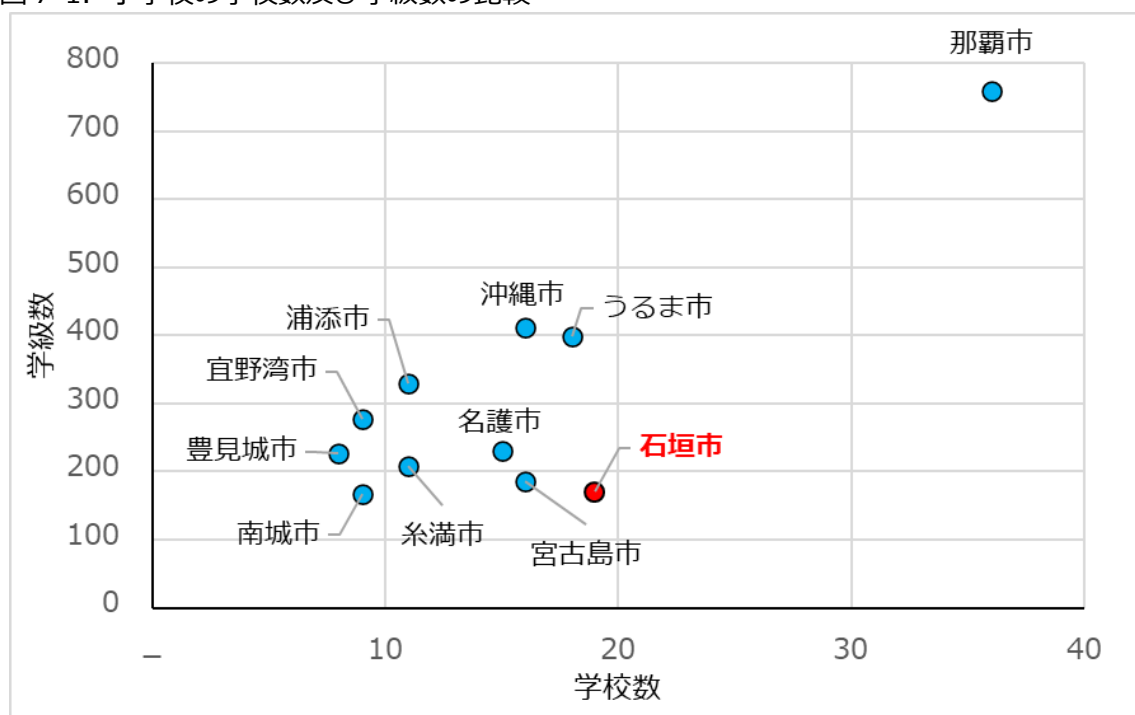
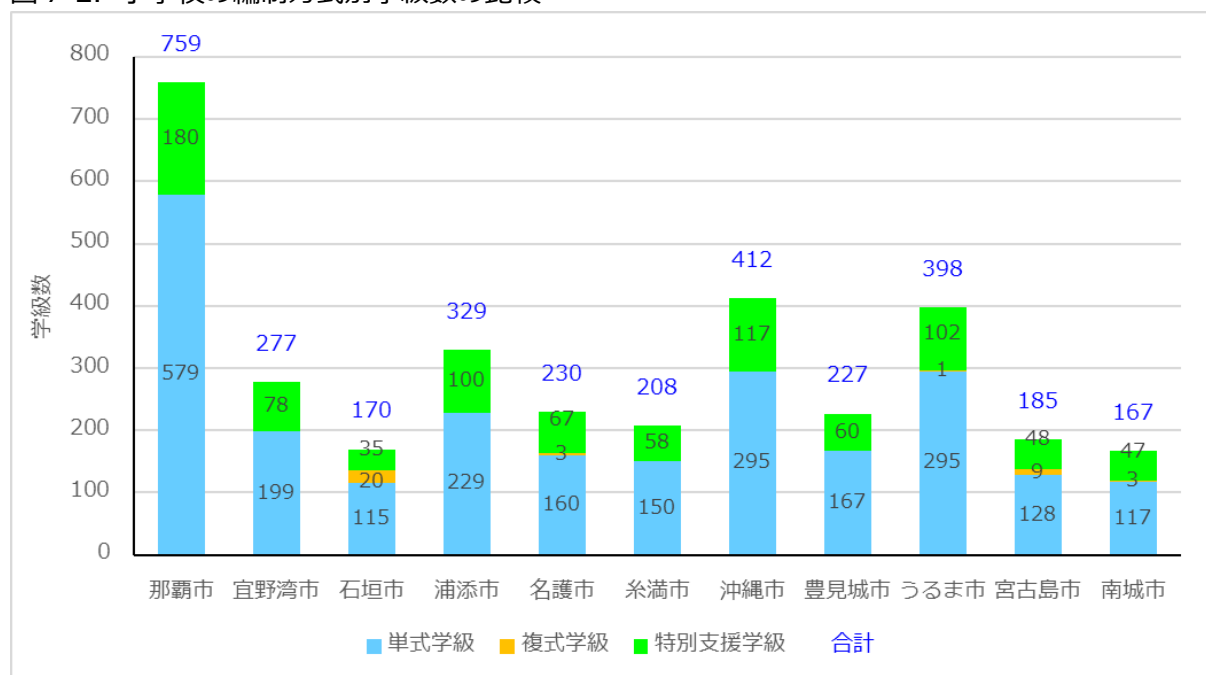


図 7-2. 小学校の編制方式別学級数の比較



## (2) 中学校の学校数と学級数の比較

県内の中学校について、学校数、学級数、生徒数の比較表を表 7-2 に示します。本市の中学校は9校あり、那覇市、宮古島市、うるま市に次いで4番目に多くなっております。学級数は81学級で、南城市に次いで2番目に少ないですが、学級数を学校数で除した1校あたりの学級数は9.0で、宮古島市に次いで2番目に少なくなっています。

また、生徒数を学校数で除した1校あたりの生徒数は178.2人で、宮古島市について2番目に小さな値となっています。県内において、1校あたりの生徒数が200人を下回り、さらに、1校あたりの学級数が一桁となっているのは、本市と宮古島市のみとなっております。

これらのことから、本市の中学校は、1校あたりの規模が平均的な学校もあるものの、小規模学校が多いことがわかります。

編制方式別の学級数の内訳を図 7-4 に示しています。本市と宮古島市、南城市、うるま市、糸満市に複式学級が設定されており、それぞれ2学級、1学級、1学級、1学級、1学級の複式学級数となっています。

表 7-2. 県内中学校の比較

市町村	人 口	生徒数	学校数	学級数 (うち複式学級数)	1 校あたり 生徒数	1 校あたり 学級数
那覇市	309,372	8,575	19	333 (0)	451.3	17.5
宜野湾市	100,219	3,028	4	114 (0)	757.0	28.5
石垣市	47,502	1,604	9	81 (2)	178.2	9.0
浦添市	115,446	3,676	5	143 (0)	735.2	28.6
名護市	64,794	2,228	8	107 (0)	278.5	13.4
糸満市	60,878	2,142	6	92 (1)	357.0	15.3
沖縄市	141,079	4,842	9	174 (0)	538.0	19.3
豊見城市	64,843	2,450	3	95 (0)	816.7	31.7
うるま市	127,328	4,200	11	164 (1)	381.8	14.9
宮古島市	52,919	1,650	15	87 (1)	110.0	5.8
南城市	46,367	1,632	5	71 (1)	326.4	14.2

※人口は令和 7 年 5 月 1 日時点の住民基本台帳人口を用いています。

図 7-3. 中学校の学校数及び学級数の比較

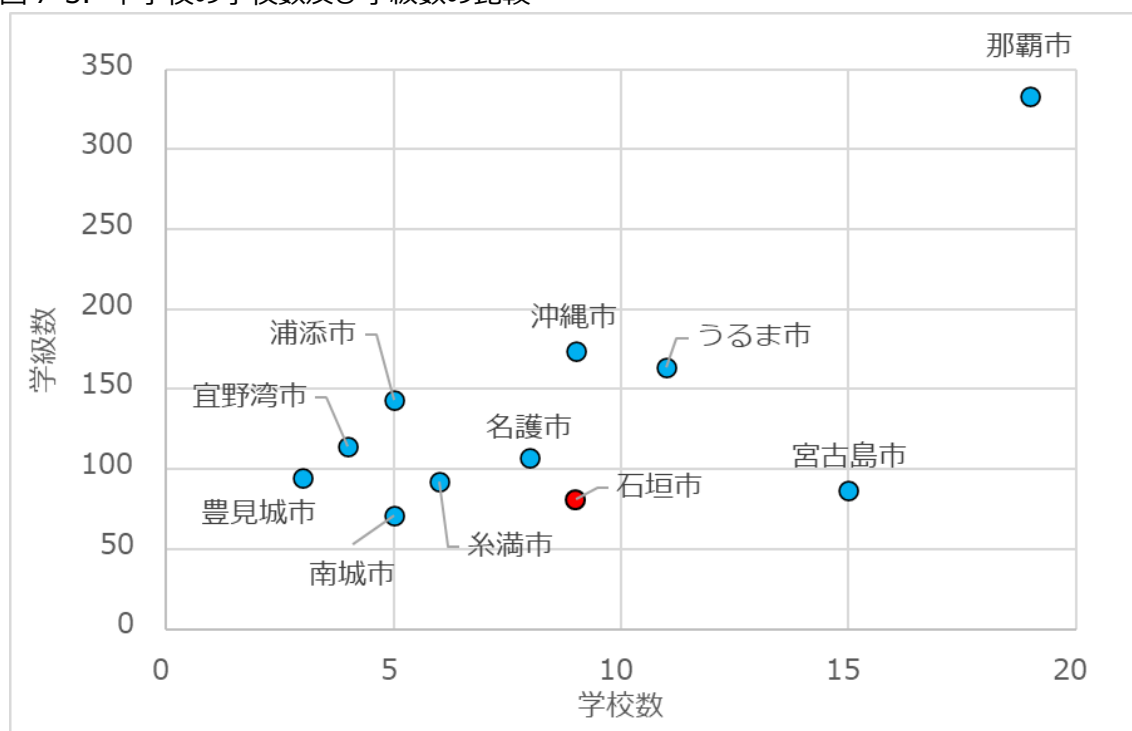
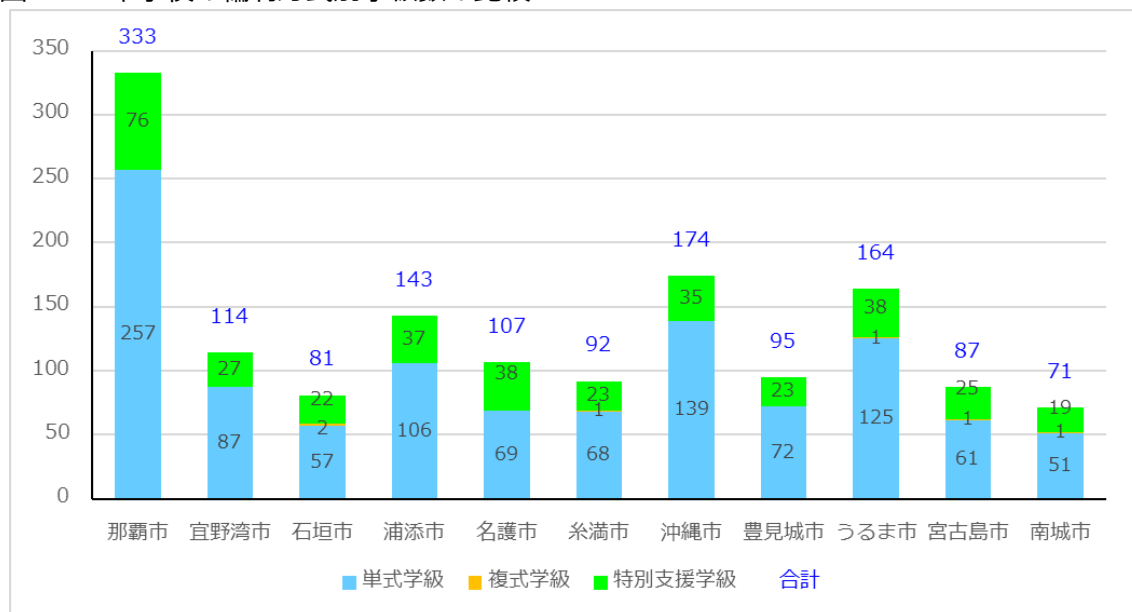


図 7-4. 中学校の編制方式別学級数の比較



### 第3節 喫緊の課題

#### (1) 将来更新費用の削減と平準化

第3章の更新費用の推計結果より、築40年以内の建物に対して長寿命化を実施することにより、今後34年間の更新費用を最も低く抑えるとともに、施設の適正化を図ることにより34年間の総額を抑制することを目指します。

その条件であっても1年あたりの更新費用は約13.6億円と推計されます。直近の学校施設に係る改築工事の中で1校当たりの事業費が最も大きかった工事は、令和4年に完了した石垣小学校の校舎改築工事で2年間の工事費用が約22億円となりました。今後の財政状況を考慮すると、同規模の予算を確保し続けることは現実的でないことから、近年の建設コスト高騰も考慮するとともに、学校の統廃合の検討を注視しつつ、築40年を超える建物についても老朽化が著しい学校における長寿命化や調査等の結果による改築を優先的に進める必要があります。そのため、石垣小学校の校舎改築工事の事業費を目安として、年間11億円を学校施設に係る事業費の最大枠と設定し、その枠の中で長寿命化対策工事や改築工事を実施することを基本とします。

しかし、直近10年間の施設整備については、1年あたり約13億円の事業費が発生すると見込まれていますので、施設整備の実施時期をずらすことによる平準化だけでなく、施設の総保有量を見直すことが急務であるといえます。

## （２）地区ごとの課題

前述の他団体比較の結果等を踏まえ、本市の学校施設における課題を地区ごとに整理しました（表 7-3）。なお、地区の区分については石垣市都市計画マスタープランに基づく区分（図 7-5）を基本として、現状の合同授業等の実施状況を考慮して区分しています。

図 7-5. 各地区の区分

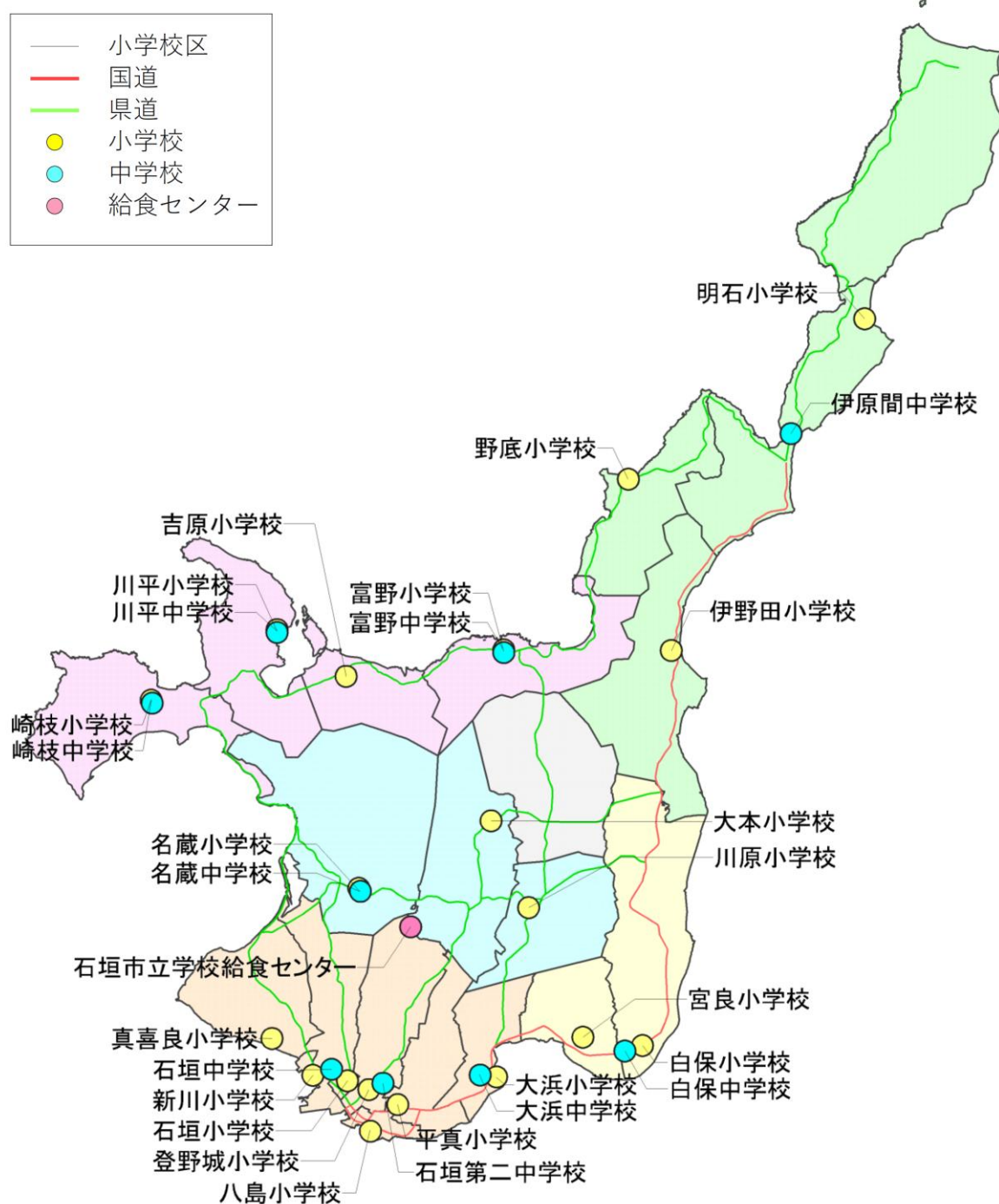


表 7-3. 地区ごとの課題

地区	対象校	課題
北部	明石小学校・野底小学校・伊野田小学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健全度 40 点未満の建物が 8 棟ある。</li> <li>・小学校には複式学級があり、複数校が集まって授業を実施する集合授業にも取り組んでいる。</li> <li>・今後児童、生徒数が減少する見込みがある。</li> <li>・平久保小学校は、令和 6 年 3 月に閉校。</li> </ul>
	伊原間中学校	
西部	富野小学校・吉原小学校・川平小学校・崎枝小学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健全度 40 点未満の建物が 9 棟ある。</li> <li>・多くの建物で屋根・屋上、もしくは外壁に D 判定が出ている。</li> <li>・小学校、中学校ともに複式学級がある。</li> <li>・小学校では複数校が集まって授業を実施する集合授業にも取り組んでいる。</li> <li>・中学校はいずれも小学校との併設校となっている。</li> <li>・今後児童、生徒数が減少する見込みがある。</li> </ul>
	富野中学校・川平中学校・崎枝中学校	
中部	名蔵小学校・大本小学校・川原小学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健全度 40 点未満の建物が 4 棟ある。</li> <li>・全ての小学校で複式学級がある。</li> </ul>
	名蔵中学校	
東部	白保小学校・宮良小学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健全度 40 点未満の建物が 4 棟ある。</li> <li>・小学校の建物 7 棟の内、5 棟で屋根・屋上、及び外壁に D 判定が出ている。</li> <li>・中学校の建物 3 棟の内、2 棟で屋根・屋上に、1 棟で外壁に D 判定が出ている。</li> </ul>
	白保中学校	
南部	大浜小学校・平真小学校・登野城小学校・石垣小学校・八島小学校・新川小学校・真喜良小学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健全度 40 点未満の建物が 14 棟ある。</li> <li>・大浜小学校と八島小学校が海岸近くにあり、南東部からの津波を想定した配置を検討する必要がある。</li> </ul>
	大浜中学校・石垣中学校・石垣第二中学校	